

## 第2章 宇和島市の現状と課題

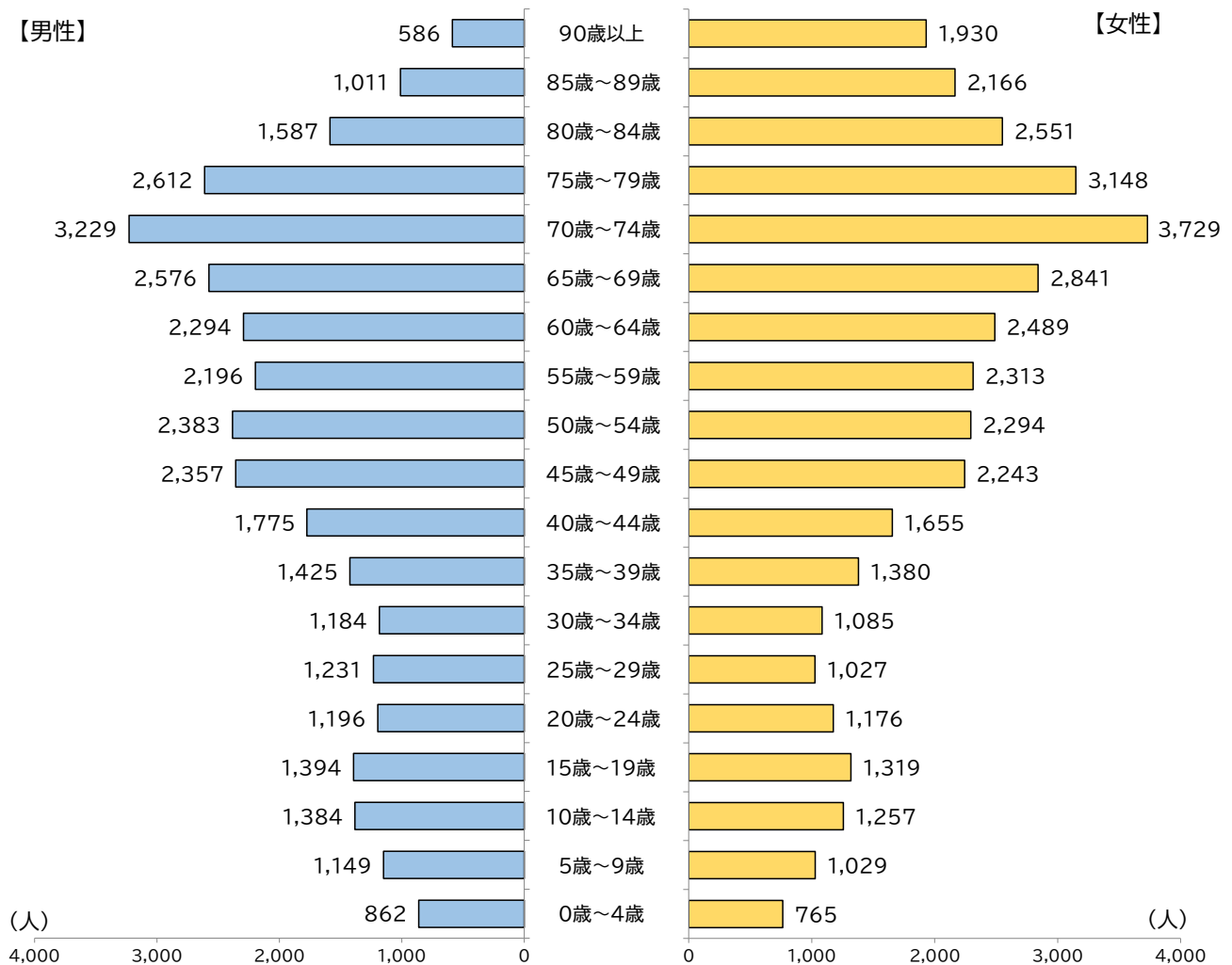
### 1. 人口等の状況

#### (1) 現在の人口

令和5年（2023年）9月末の総人口（68,828人）の5歳毎分布をみると、男性・女性ともに70～74歳、75～79歳の順で多くなっています。

70～74歳は全体の10.1%を占め、男性は3,229人、女性は3,729人となっています。

65～69歳は全体の7.9%を占め、男性は2,576人、女性は2,841人となっています。



※資料：住民基本台帳 令和5年（2023年）9月末日現在

## (2) 人口の推移

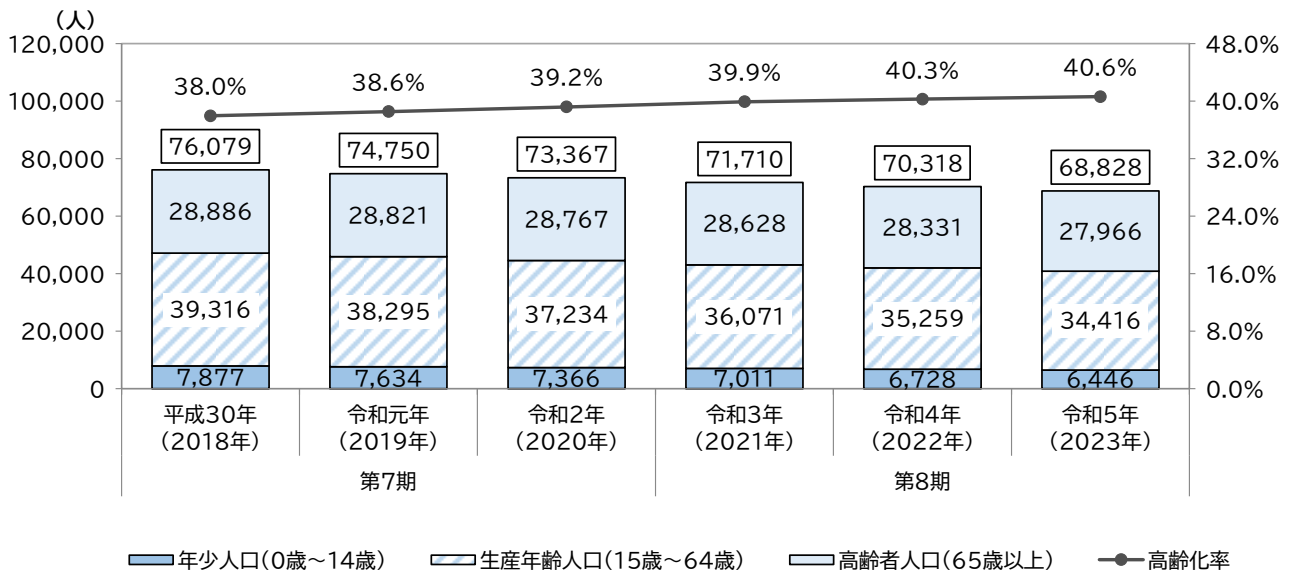
人口の推移をみると、総人口は減少傾向にあり、令和5年（2023年）では68,828人と、平成30年（2018年）の76,079人から5年間で7,251人減少しています。

また、高齢者人口（65歳以上）も減少傾向にあり、令和5年（2023年）では27,966人と、平成30年（2018年）の28,886人から920人減少しています。

総人口と高齢者人口ともに減少していますが、高齢化率は年々上昇し、令和5年（2023年）では40.6%となっています。また、総人口に占める75歳以上の割合も年々上昇し、令和5年（2023年）では22.7%となっています。

単位:人

区分	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	76,079	74,750	73,367	71,710	70,318	68,828
年少人口(0歳～14歳)	7,877	7,634	7,366	7,011	6,728	6,446
生産年齢人口(15歳～64歳)	39,316	38,295	37,234	36,071	35,259	34,416
40歳～64歳	24,554	24,066	23,497	22,925	22,467	21,999
高齢者人口(65歳以上)	28,886	28,821	28,767	28,628	28,331	27,966
65歳～74歳(前期高齢者)	13,842	13,674	13,700	13,793	13,125	12,375
75歳以上(後期高齢者)	15,044	15,147	15,067	14,835	15,206	15,591
高齢化率	38.0%	38.6%	39.2%	39.9%	40.3%	40.6%
総人口に占める75歳以上の割合	19.8%	20.3%	20.5%	20.7%	21.6%	22.7%



※資料：住民基本台帳 各年9月末日現在

### (3) 将来人口推計

将来人口の推計をみると、総人口は今後も減少傾向となり、令和8年（2026年）では64,620人と、令和6年（2024年）から2,807人減少する見込みとなっています。その後も減少は続き、令和12年（2030年）では59,110人、令和22年（2040年）では45,916人となる見込みです。

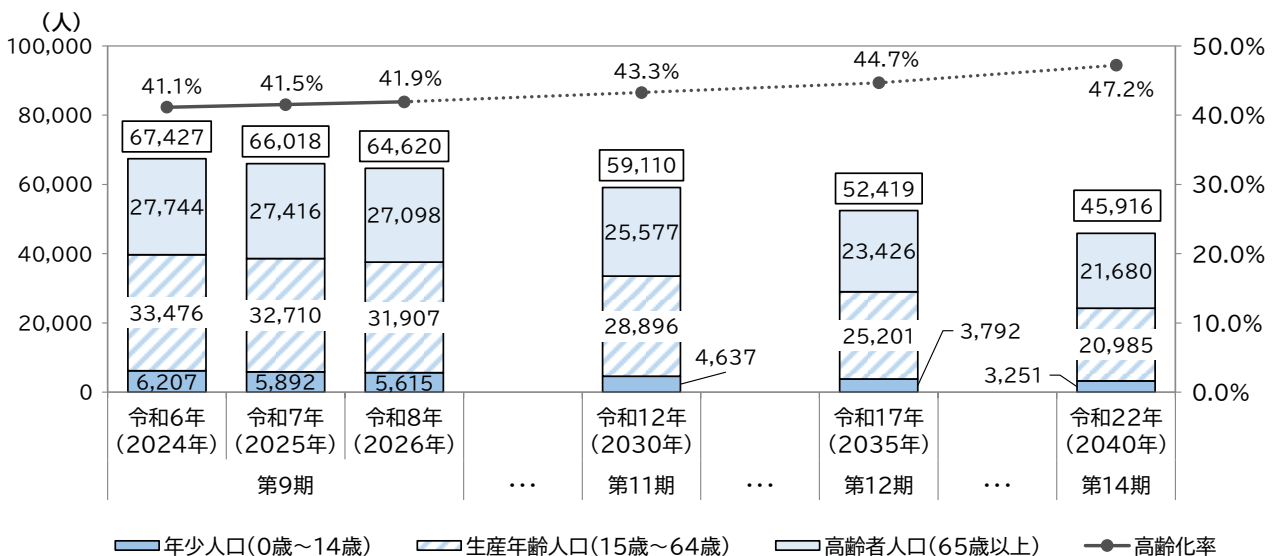
一方で、高齢者人口も減少傾向となっていますが、内訳をみると、後期高齢者人口は令和8年（2026年）までは増加傾向となっており、令和8年（2026年）では16,476人と、令和6年（2024年）の16,048人から428人増加し、その後は減少していく見込みとなっています。

総人口の減少率が高齢者人口の減少率を上回ることが高齢化率は年々上昇し、令和8年（2026年）では41.9%、令和12年（2030年）では43.3%、さらに令和22年（2040年）では47.2%まで高くなる見込みとなっています。

また、総人口に占める75歳以上の割合は、令和8年（2026年）では25.5%、さらに令和22年（2040年）では29.3%となる見込みとなっています。

単位：人

区分	第9期			第11期	第12期	第14期
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)
総人口	67,427	66,018	64,620	59,110	52,419	45,916
年少人口(0歳～14歳)	6,207	5,892	5,615	4,637	3,792	3,251
生産年齢人口(15歳～64歳)	33,476	32,710	31,907	28,896	25,201	20,985
40歳～64歳	21,496	21,021	20,529	18,526	16,169	13,480
高齢者人口(65歳以上)	27,744	27,416	27,098	25,577	23,426	21,680
65歳～74歳(前期高齢者)	11,696	11,084	10,622	9,290	8,255	8,209
75歳以上(後期高齢者)	16,048	16,332	16,476	16,287	15,171	13,471
高齢化率	41.1%	41.5%	41.9%	43.3%	44.7%	47.2%
総人口に占める75歳以上の割合	23.8%	24.7%	25.5%	27.6%	28.9%	29.3%



※資料：住民基本台帳人口に基づきコーホート変化率法で推計

※「コーホート変化率法」は、同年に出生した集団（コーホート）の過去における実績人口の変化率に基づき将来人口を推計する方法

#### (4) 世帯数の推移

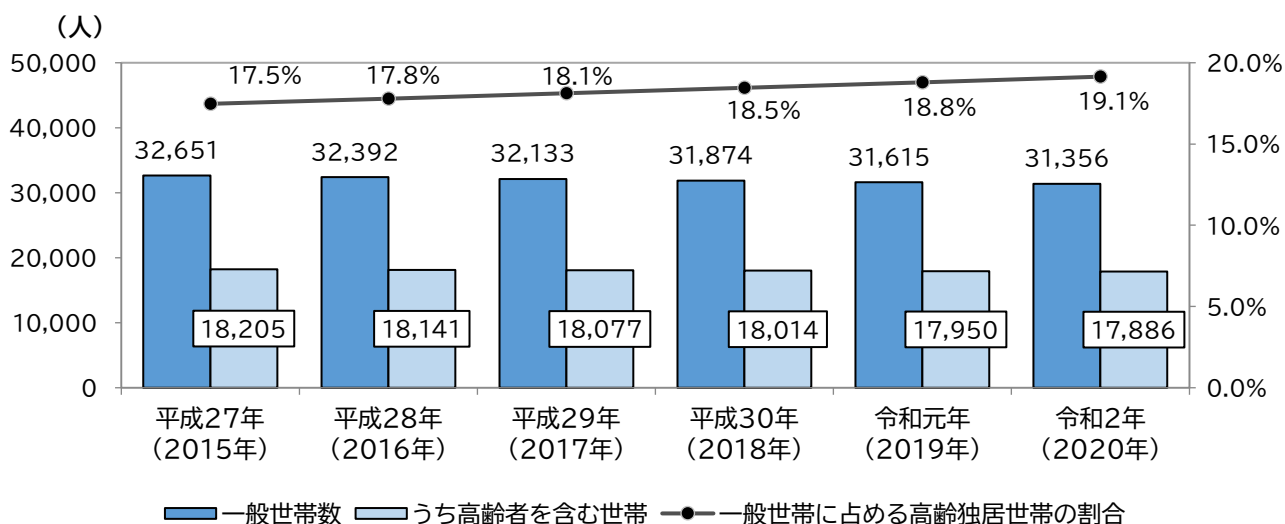
世帯数の推移をみると、一般世帯数は減少傾向にあり、令和2年（2020年）では31,356世帯と、平成27年（2015年）の32,651世帯から1,295世帯減少しています。

高齢者を含む世帯も減少傾向にあり、令和2年（2020年）では17,886世帯と、平成27年（2015年）の18,205世帯から319世帯減少しています。令和2年（2020年）では高齢独居世帯は6,003世帯、高齢夫婦世帯は4,354世帯となっています。

一般世帯に占める高齢独居世帯の割合は年々上昇し、令和2年（2020年）では19.1%となっています。

単位：世帯

	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
一般世帯数	32,651	32,392	32,133	31,874	31,615	31,356
高齢者を含む世帯	18,205	18,141	18,077	18,014	17,950	17,886
高齢者のみ世帯	9,749	9,871	9,992	10,114	10,235	10,357
高齢独居世帯	5,705	5,765	5,824	5,884	5,943	6,003
高齢夫婦世帯	4,044	4,106	4,168	4,230	4,292	4,354
一般世帯に占める高齢独居世帯の割合	17.5%	17.8%	18.1%	18.5%	18.8%	19.1%



※資料：総務省「国勢調査」ただし、国勢調査は5年ごとの指標値のみが公表されているため、それ以外の年度については各指標値を直線で結んだ際に算出される値となっている。

※一般世帯数は、世帯総数から学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、矯正施設の入所者等から成る施設等の世帯を除いた世帯数。

※高齢者を含む世帯数は、一般世帯のうち、65歳以上の世帯員が1人以上いる世帯数。

※高齢独居世帯数は、高齢者を含む世帯のうち、世帯員が65歳以上の高齢者1名のみ世帯数。

※高齢夫婦世帯数は、世帯員が夫婦のみの世帯のうち、夫および妻の年齢が65歳以上の世帯数。

## 2. 要支援・要介護認定者の状況

### (1) 要支援・要介護認定者の推移

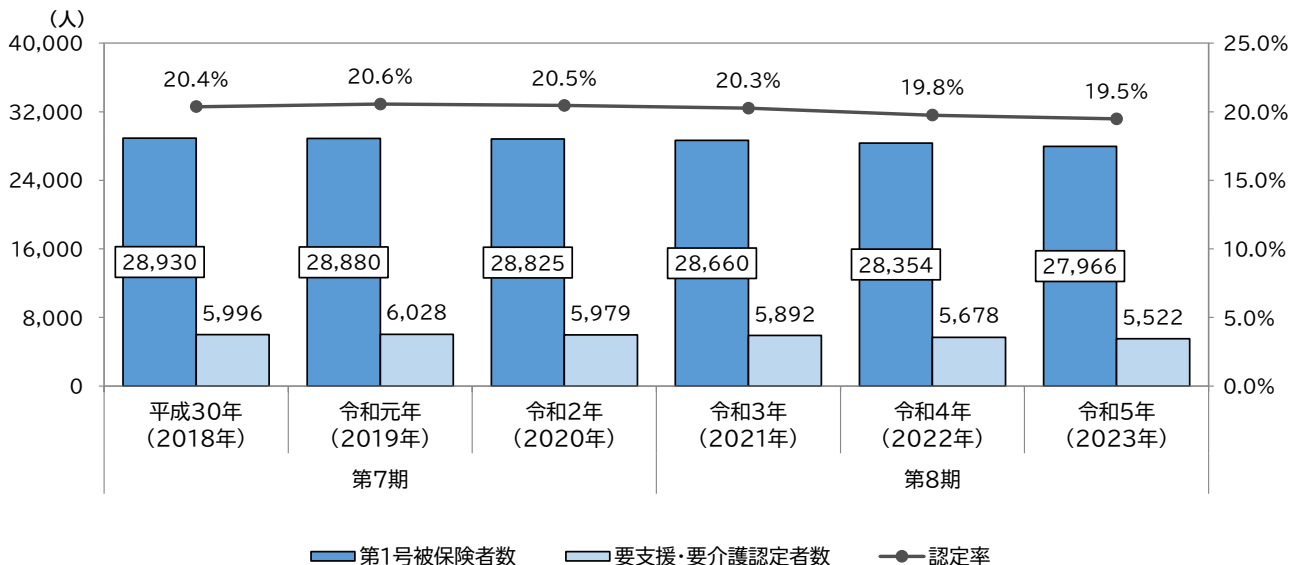
#### ① 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数の推移をみると、令和5年（2023年）では5,522人と、平成30年（2018年）の5,996人から5年間で474人減少しています。

認定率は令和5年（2022年）で19.5%となっています。

単位：人

区分	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
第1号被保険者数	28,930	28,880	28,825	28,660	28,354	27,966
要支援・要介護認定者数	5,996	6,028	5,979	5,892	5,678	5,522
第1号被保険者	5,892	5,936	5,895	5,805	5,600	5,447
第2号被保険者	104	92	84	87	78	75
認定率	20.4%	20.6%	20.5%	20.3%	19.8%	19.5%



※資料：厚労省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システムより）各年9月末日現在

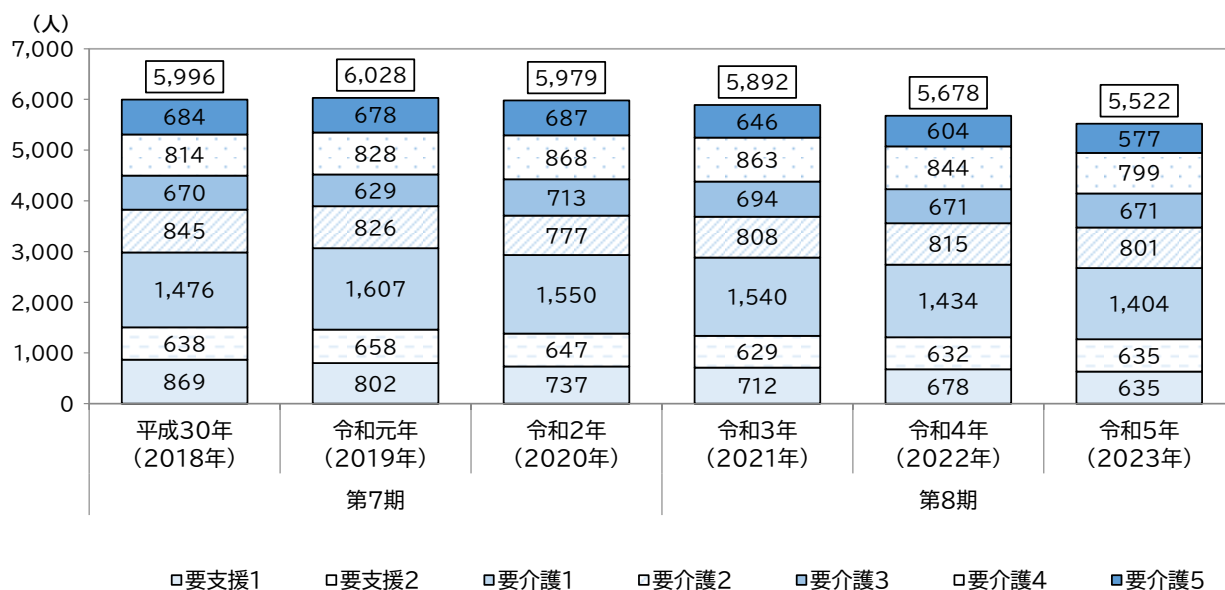
※本指標の「認定率」は、第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した数。

## ② 要支援・要介護認定者数内訳の推移

要支援・要介護認定者の内訳の推移をみると、ほとんどの介護度で平成30年（2018年）から令和5年（2023年）にかけて増減を繰り返していますが、要支援1については、減少を続けています。

単位：人

区分	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
要支援・要介護認定者数	5,996	6,028	5,979	5,892	5,678	5,522
要支援1	869	802	737	712	678	635
要支援2	638	658	647	629	632	635
要介護1	1,476	1,607	1,550	1,540	1,434	1,404
要介護2	845	826	777	808	815	801
要介護3	670	629	713	694	671	671
要介護4	814	828	868	863	844	799
要介護5	684	678	687	646	604	577



※資料：厚労省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システムより） 各年9月末日現在

## (2) 要支援・要介護認定者の推計

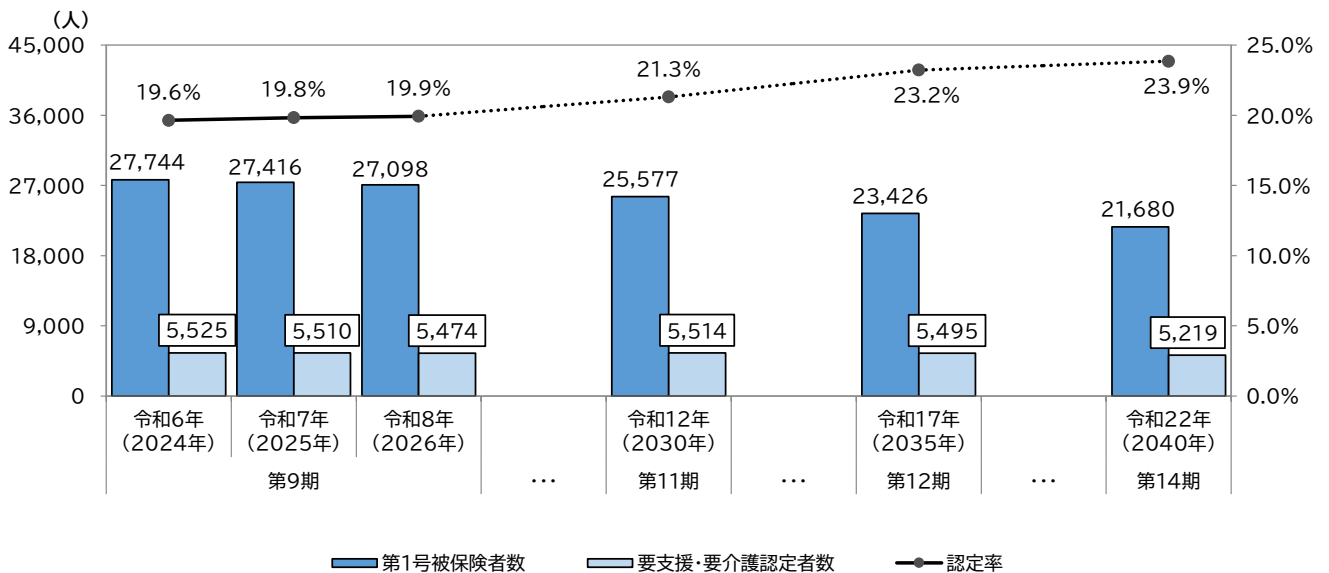
### ① 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数の推計をみると、令和7年（2025年）では5,510人、令和22年（2040年）では5,219人となる見込みです。

認定率は令和7年（2025年）では19.8%、令和22年（2040年）では23.9%を占める見込みです。

区分	第9期			第11期	第12期	第14期
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)
第1号被保険者数	27,744	27,416	27,098	25,577	23,426	21,680
要支援・要介護認定者数	5,525	5,510	5,474	5,514	5,495	5,219
第1号被保険者	5,450	5,436	5,400	5,451	5,440	5,172
第2号被保険者	75	74	74	63	55	47
認定率	19.6%	19.8%	19.9%	21.3%	23.2%	23.9%

単位:人



※資料：地域包括ケア「見える化」システムより ※推計値

※本指標の「認定率」は、第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した数。

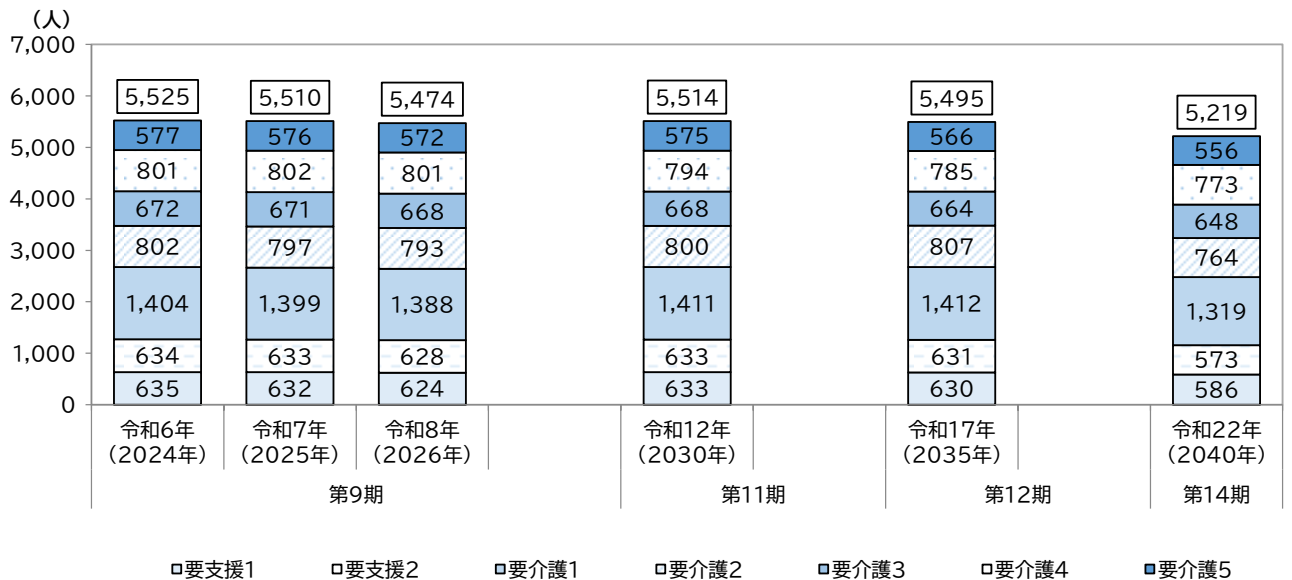
② 要支援・要介護認定者数内訳の推移

要支援・要介護認定者の内訳の推計をみると、第9期期間中は、横ばいもしくは減少傾向となっています。

令和5年（2023年）から令和7年（2025年）にかけては、要介護4で増加する見込みです。

単位:人

区分	第9期			第11期	第12期	第14期
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)
要支援・要介護認定者数	5,525	5,510	5,474	5,514	5,495	5,219
要支援1	635	632	624	633	630	586
要支援2	634	633	628	633	631	573
要介護1	1,404	1,399	1,388	1,411	1,412	1,319
要介護2	802	797	793	800	807	764
要介護3	672	671	668	668	664	648
要介護4	801	802	801	794	785	773
要介護5	577	576	572	575	566	556



※資料：地域包括ケア「見える化」システムより ※推計値

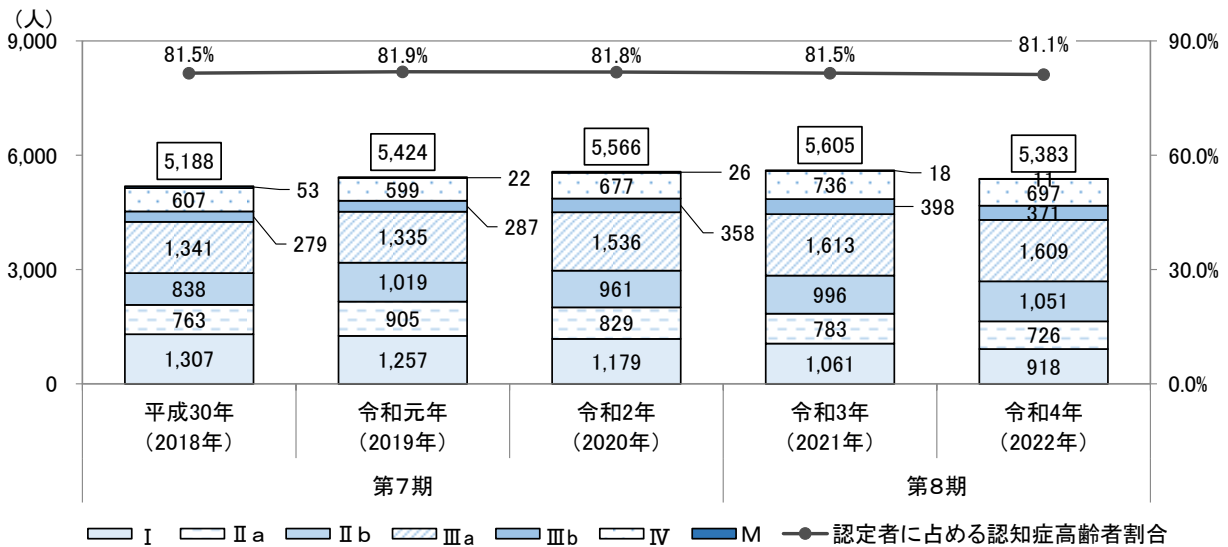


### (3) 認知症高齢者数の推移

認知症自立度Ⅰ以上認定者数の推移をみると、令和4年（2022年）では5,383人と、平成30年（2018年）の5,188人から4年間で195人増加しています。内訳をみると、認知症自立度ⅠとMが大きく減少しており、認知症自立度ⅡbからⅣで増加しています。

単位：人

区分	第7期			第8期	
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
要支援・要介護認定者数	6,366	6,625	6,804	6,876	6,634
自立	1,178	1,201	1,238	1,271	1,251
Ⅰ	1,307	1,257	1,179	1,061	918
Ⅱa	763	905	829	783	726
Ⅱb	838	1,019	961	996	1,051
Ⅲa	1,341	1,335	1,536	1,613	1,609
Ⅲb	279	287	358	398	371
Ⅳ	607	599	677	736	697
M	53	22	26	18	11
認知症自立度Ⅰ以上認定者数	5,188	5,424	5,566	5,605	5,383
認定者に占める認知症高齢者割合	81.5%	81.9%	81.8%	81.5%	81.1%



※資料：社会福祉協議会基礎調査への報告数値 各年10月1日現在

※認定調査と主治医意見書に基づき、介護認定審査会において最終的に決定された認知症高齢者の日常生活自立度を指す。

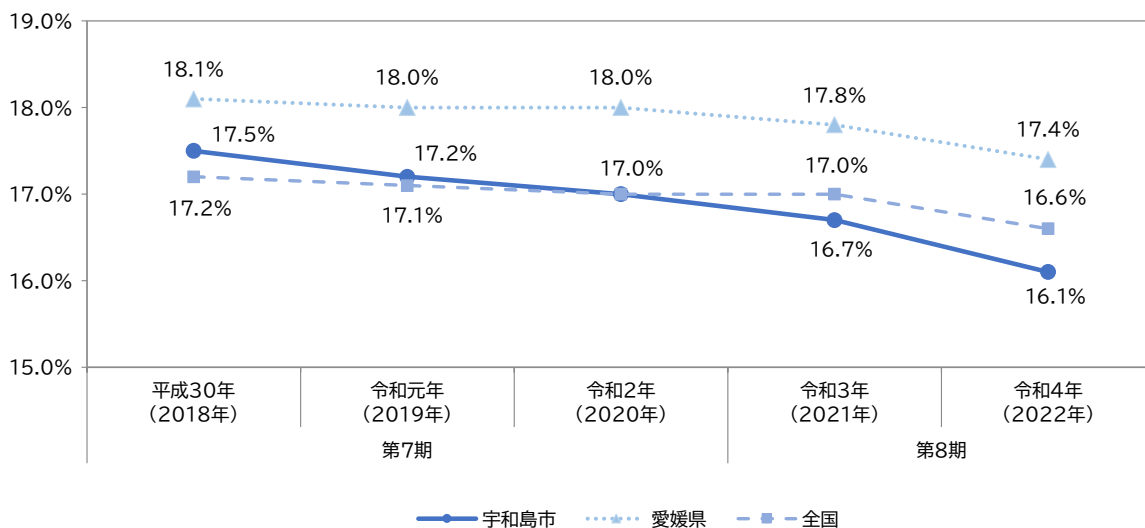
※認知症高齢者の自立度は下記のとおり

Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅱa	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅱb	家庭外でも上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅲ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
Ⅲa	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅲb	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に開度を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

### 3. 地域包括ケア「見える化システム」を活用した地域分析

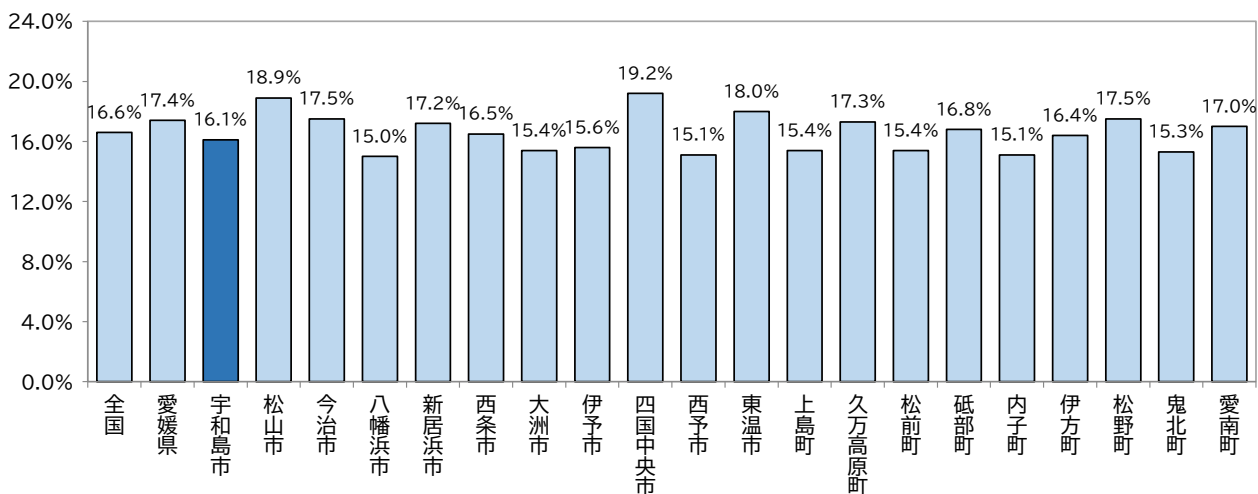
#### (1) 調整済認定率の比較

本市の調整済み認定率は、毎年低下をしています。すべての年で愛媛県より低い水準で、全国とは令和2年（2020年）を軸に反転して、令和3年（2021年）より低い水準となっています。



※資料：厚労省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システムより） 各年3月末末現在。  
 ※性・年齢構成を考慮しない調整済認定率を使用。計算に用いる標準的な人口構造は平成27年（2015年）1月1日時点の全国平均の構成。

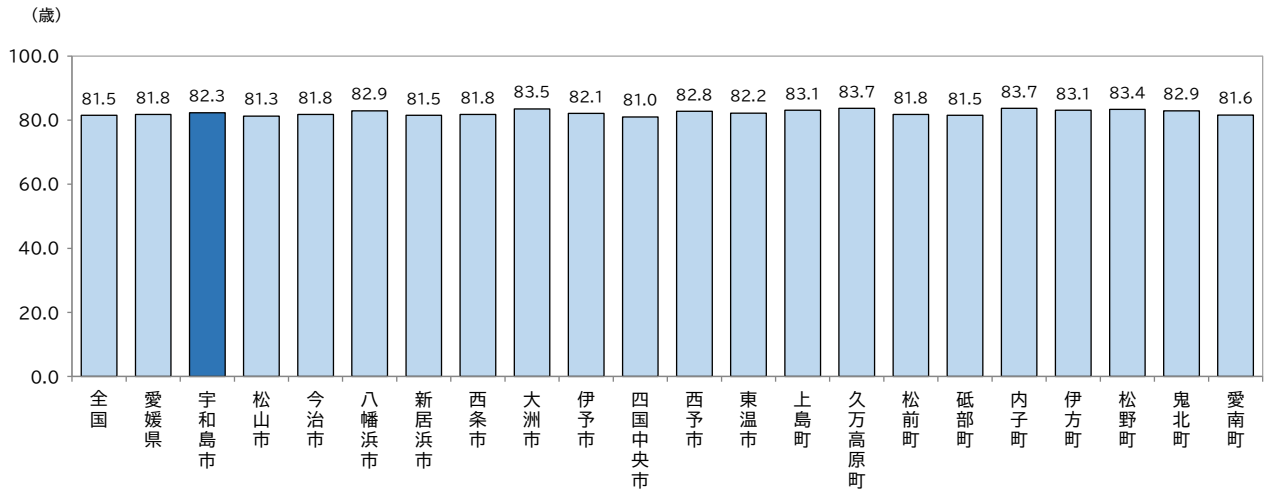
#### 【参考：県内他保険者比較】



※時点：令和4（2022）年3月末。  
 ※性・年齢構成を考慮しない調整済認定率を使用。計算に用いる標準的な人口構造は平成27年（2015年）1月1日時点の全国平均の構成。

## (2) 新規要支援・要介護認定者の平均年齢

本市の新規・要支援・要介護認定者の平均年齢は 82.3 歳となっています。

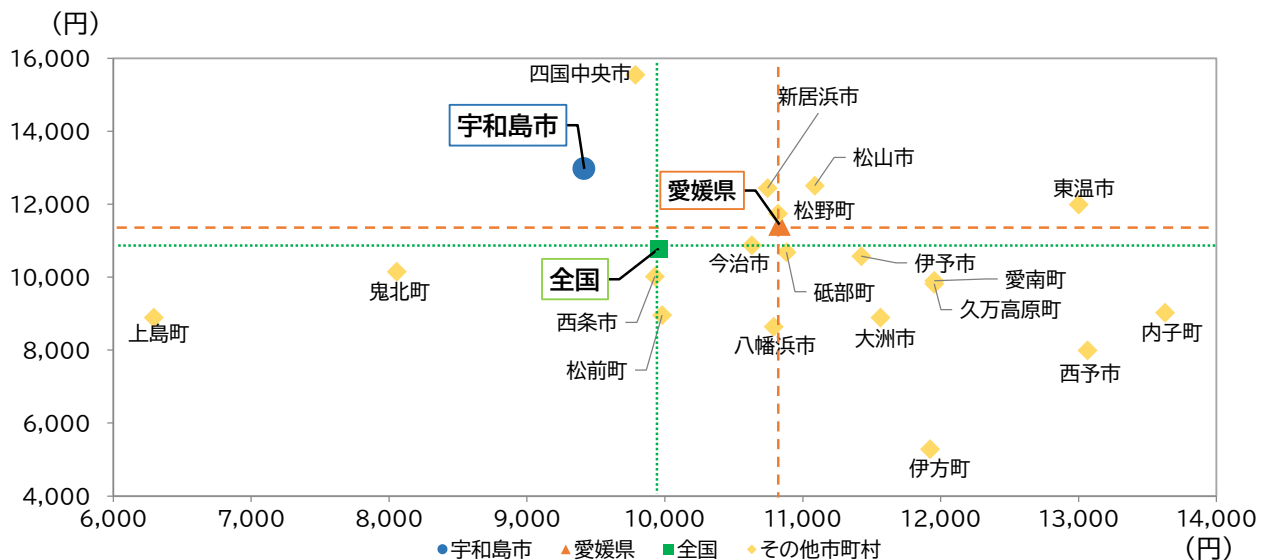


※時点：令和 3 (2021) 年 11 月

※資料：厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和 3 年 11 月 10 日時点データにて集計)

## (3) 調整済み第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額

第 1 号被保険者 1 人あたり調整給付月額の状態をみると、施設および居住系サービスの給付月額は 9,415 円、在宅サービスは 12,967 円となっています。施設および居住系サービス(全国：9,955 円、愛媛県：10,831 円)は全国・愛媛県の月額を下回っており、在宅サービス(全国：10,786 円、愛媛県：11,444 円)は上回っています。



※資料：厚生労働省「介護保険総合データベース」、「介護保険事業状況報告(年報)」令和 2 年(2020 年)現在

※調整給付月額は、第 1 号被保険者の性・年齢構成を調整し、単位数に一律 10 円を乗じ、さらに実効給付率を乗じた数。

※実効給付率とは、当該年度の給付額の合計を費用額の合計で除した割合。

※本指標の「在宅サービス調整給付月額」は、在宅サービス給付費の総額を第 1 号被保険者数で除した数。

※本指標の「施設および居住系サービス調整給付月額」は、第 1 号被保険者に対する施設および居住系サービス給付費の総額を第 1 号被保険者数で除した数。

※在宅サービスは、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護(介護老人保健施設)、短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)、福祉用具貸与、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護を指す。

※施設および居住系サービスは、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護を指す

#### (4) 受給者数

令和5年4月の施設受給者は886人、居住系受給者数は418人、在宅受給者数は3,043人となっており、合計受給者数は4,347人となっています。

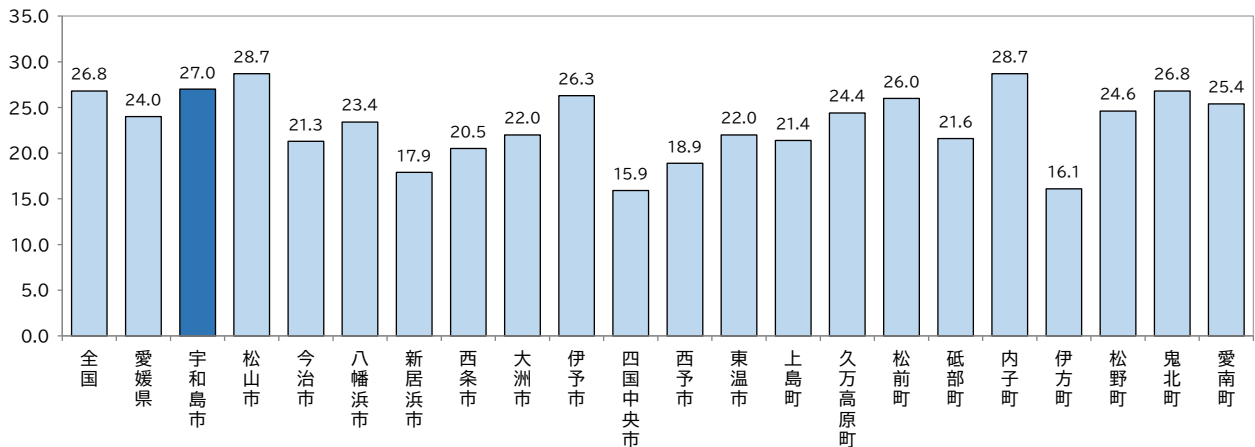
	平成26年 4月	平成27年 4月	平成28年 4月	平成29年 4月	平成30年 4月	平成31年 4月	令和2年 4月	令和3年 4月	令和4年 4月	令和5年 4月
施設受給者数 (人)	881	930	911	930	872	900	914	887	900	886
居住系受給者数 (人)	347	351	369	335	362	340	372	361	385	418
在宅受給者数 (人)	4,016	3,859	4,358	3,401	3,184	3,248	3,215	3,287	3,177	3,043
合計受給者数 (人)	5,244	5,140	5,638	4,666	4,418	4,488	4,501	4,535	4,462	4,347

※資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

#### (5) 受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)

本市の訪問介護の受給者1人あたり利用日数・回数をみると、27.0回と県内20保険者中3番目の水準と高くなっています。

(日数・回数)



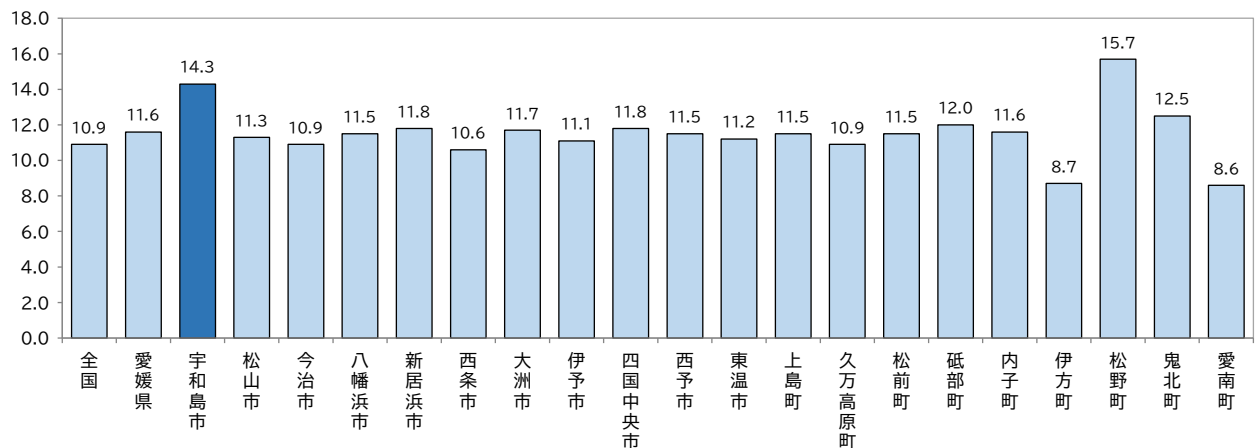
※時点：令和5年(2023年)

※資料：(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

#### (6) 受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)

本市の通所介護の受給者1人あたり利用日数・回数をみると、14.3回と県内20保険者中2番目の水準と高くなっています。

(日数・回数)

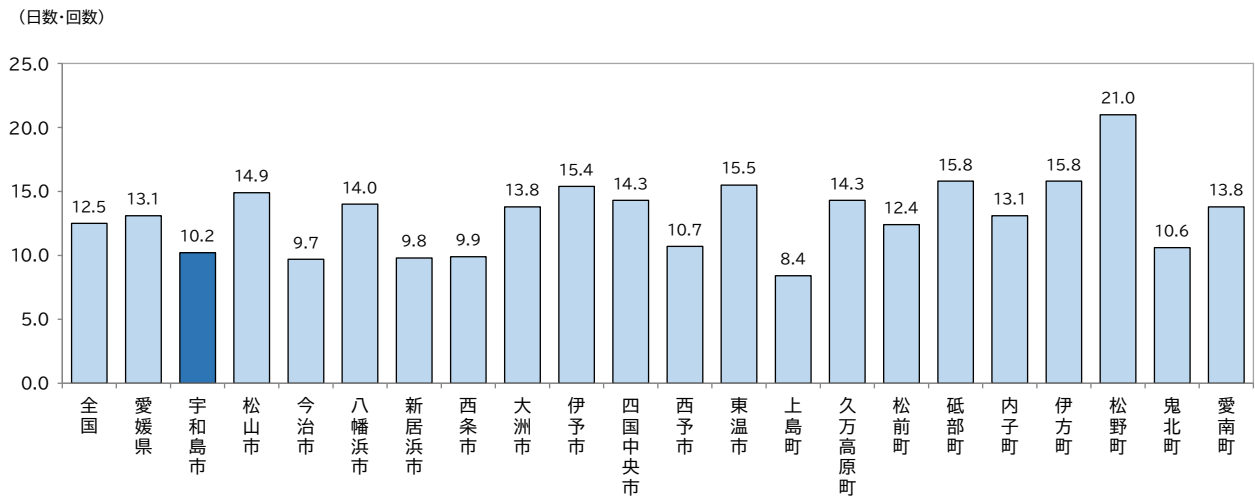


※時点：令和5年(2023年)

※資料：(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

### (7) 受給者 1 人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)

本市の短期入所生活介護の受給者 1 人あたり利用日数・回数をみると、10.2 回と県内 20 保険者中 16 番目の水準となっています。

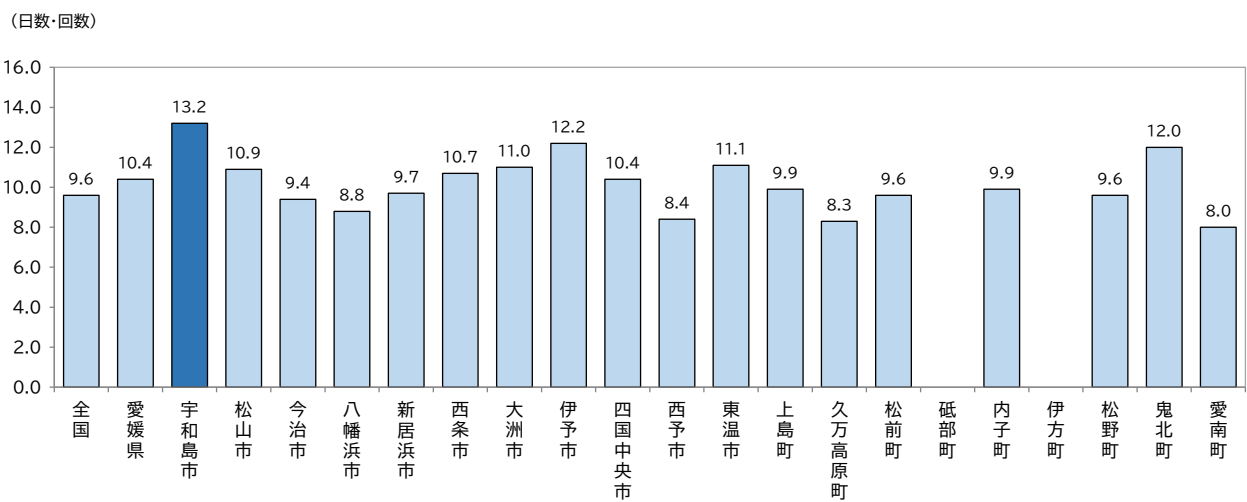


※時点：令和 5 年 (2023 年)

※資料：(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

### (8) 受給者 1 人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)

本市の地域密着型通所介護の受給者 1 人あたり利用日数・回数をみると、13.2 回と県内 20 保険者中 1 番目の水準と高くなっています。



※時点：令和 5 年 (2023 年)

※資料：(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

## (9) 第8期計画値と給付実績値との対比

### ① 介護給付サービス

介護サービスの給付額の合計をみると令和3年度は95.5%、令和4年度は92.1%と、共に計画値より低く推移しています。

単位:千円

	令和3年度			令和4年度		
	計画値	実績値	計画対比	計画値	実績値	計画対比
<b>(1) 居宅サービス</b>						
訪問介護	898,180	891,253	99.2%	898,802	819,038	91.1%
訪問入浴介護	48,645	46,039	94.6%	48,672	43,818	90.0%
訪問看護	184,824	189,396	102.5%	185,381	179,201	96.7%
訪問リハビリテーション	12,418	7,489	60.3%	12,425	6,769	54.5%
居宅療養管理指導	28,144	29,102	103.4%	28,149	27,945	99.3%
通所介護	1,969,037	1,907,208	96.9%	1,974,379	1,831,931	92.8%
通所リハビリテーション	234,340	234,608	100.1%	235,994	225,723	95.6%
短期入所生活介護	223,452	153,730	68.8%	223,576	129,878	58.1%
短期入所療養介護 (老健+病院等+介護医療院)	80,424	77,169	96.0%	80,468	59,356	73.8%
福祉用具貸与	254,346	263,565	103.6%	254,774	259,550	101.9%
特定福祉用具購入費	6,175	5,275	85.4%	6,175	5,191	84.1%
住宅改修費	15,145	11,974	79.1%	15,145	11,281	74.5%
特定施設入居者生活介護	381,884	325,600	85.3%	382,096	337,730	88.4%
<b>(2) 地域密着型サービス</b>						
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	68,441	58,908	86.1%	68,479	46,744	68.3%
夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-
地域密着型通所介護	555,261	507,915	91.5%	555,569	446,878	80.4%
認知症対応型通所介護	39,967	24,580	61.5%	39,989	21,036	52.6%
小規模多機能型居宅介護	115,300	64,125	55.6%	115,364	61,882	53.6%
認知症対応型共同生活介護	695,627	681,404	98.0%	696,013	679,526	97.6%
地域密着型特定施設 入居者生活介護	-	-	-	68,842	41,854	60.8%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	199,595	170,516	85.4%	199,705	168,877	84.6%
看護小規模多機能型居宅介護	80,148	61,862	77.2%	80,192	59,740	74.5%
<b>(3) 施設サービス</b>						
介護老人福祉施設	1,569,159	1,534,918	97.8%	1,570,030	1,556,996	99.2%
介護老人保健施設	1,152,071	1,148,078	99.7%	1,152,710	1,161,108	100.7%
介護医療院	4,797	2,284	47.6%	4,799	-	0.0%
介護療養型医療施設	4,436	-	0.0%	4,438	-	0.0%
<b>(4) 居宅介護支援</b>						
居宅介護支援	459,483	470,975	102.5%	461,041	444,798	96.5%
<b>合計</b>	<b>9,281,299</b>	<b>8,867,973</b>	<b>95.5%</b>	<b>9,363,207</b>	<b>8,626,850</b>	<b>92.1%</b>

※資料：実績値は年報を採用

## ②介護予防サービス

介護予防サービスの給付額の合計をみると令和3年度は86.6%、令和4年度は92.6%と、共に計画値より低く推移しています。

単位:千円

	令和3年度			令和4年度		
	計画値	実績値	計画対比	計画値	実績値	計画対比
<b>(1)介護予防サービス</b>						
介護予防訪問入浴介護	-	-	-	-	28	-
介護予防訪問看護	12,630	11,167	88.4%	12,881	12,678	98.4%
介護予防訪問リハビリテーション	1,444	356	24.7%	1,125	412	36.6%
介護予防居宅療養管理指導	1,252	845	67.5%	1,253	968	77.3%
介護予防通所リハビリテーション	27,250	22,011	80.8%	27,265	22,393	82.1%
介護予防短期入所生活介護	1,537	889	57.8%	1,538	1,574	102.3%
介護予防短期入所療養介護 (老健+病院等+介護医療院)	-	75	-	-	96	-
介護予防福祉用具貸与	30,833	33,113	107.4%	31,043	35,165	113.3%
特定介護予防 福祉用具購入費	1,905	1,352	71.0%	1,905	1,515	79.5%
介護予防住宅改修	10,177	5,792	56.9%	10,177	6,919	68.0%
介護予防特定施設 入居者生活介護	5,009	4,133	82.5%	5,012	5,262	105.0%
<b>(2)地域密着型介護予防サービス</b>						
介護予防 認知症対応型通所介護	589	-	0.0%	589	-	0.0%
介護予防 小規模多機能型居宅介護	3,132	2,689	85.9%	3,134	2,606	83.2%
介護予防 認知症対応型共同生活介護	5,583	2,159	38.7%	5,586	2,165	38.8%
<b>(3)介護予防支援</b>						
介護予防支援	27,045	26,576	98.3%	27,113	27,341	100.8%
<b>合計</b>	<b>128,386</b>	<b>111,157</b>	<b>86.6%</b>	<b>128,621</b>	<b>119,122</b>	<b>92.6%</b>

※資料：実績値は年報を採用

## 4. アンケート調査結果

「宇和島市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、令和6年度から令和8年度までの「宇和島市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施しました。

「在宅介護実態調査」は介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要かを検討するうえでの基礎資料とするため実施しました。

### 【調査概要】

調査種類	宇和島市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査		
対象者	・令和4年12月1日現在、宇和島市にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)から無作為抽出した4,000人		
実施期間	令和5年1月10日(火)～令和5年2月3日(金)		
実施方法	郵送配布、郵送回収、回収率向上のための礼状兼督促はがきを実施		
配布数	4,000件	有効回収数(有効回収率)	2,746件(68.7%)

調査種類	在宅介護実態調査		
対象者	令和4年8月8日以降の訪問調査時に、在宅で生活している要支援・要介護者※ ※医療機関に入院している人、特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院・特定施設・グループホーム・地域密着型特定施設・地域密着型特別養護老人ホームに入所又は入居している人は対象外。		
実施期間	令和4年8月8日(月)～令和5年1月13日(金)		
実施方法	認定調査員による聞き取り		
配布数	652件	有効回収数(有効回収率)	652件(100.0%)

### 【調査結果の留意点】

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を示しています。
2. 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMAと記載し、数字はすべて人数表記しています。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合があります。



# (1) 宇和島市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

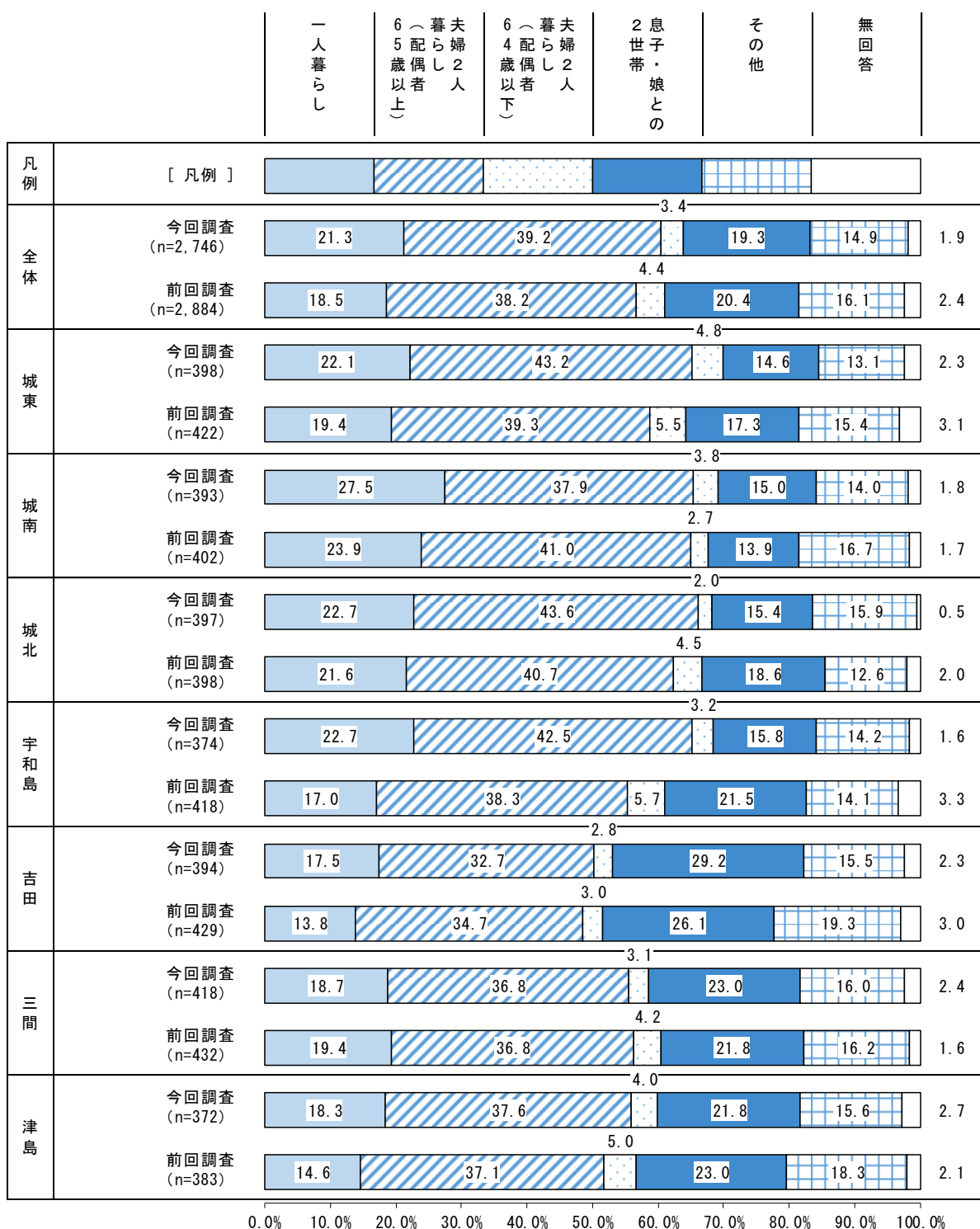
## ① 家族構成

家族構成をみると、全体では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（39.2%）が最も多く、次いで「1人暮らし」（21.3%）、「息子・娘との2世帯」（19.3%）の順となっています。

前回調査と比べると、「1人暮らし」が2.8ポイント増加しています。

圏域別にみると、「1人暮らし」の方は、城南が27.5%と最も多くなっています。また、三間以外の圏域で前回調査と比べて「1人暮らし」の割合が高くなっています。

【家族構成／前回比較】



② 経済状況

経済状況について、「ふつう」が55.7%で最も多く、次いで「やや苦しい」が27.1%、「大変苦しい」が9.1%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は36.2%となっています。

家族構成別にみると、“苦しい方”は1人暮らしが43.3%と他の区分に比べて多くなっています。

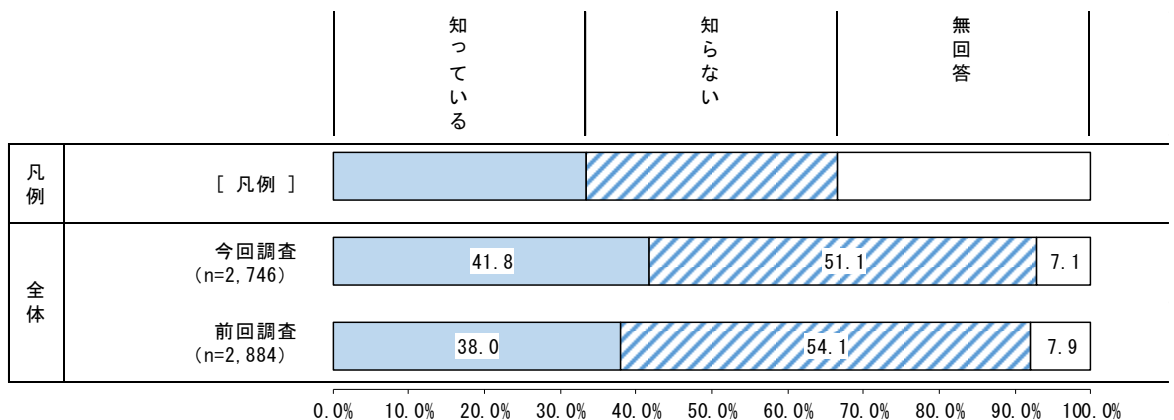
単位：%

	母数 (n)	経済状況						“ 苦しい方”	
		大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	ゆ や と り が あ る	ゆ や と り が あ る	無 回 答		
全体	2,746	9.1	27.1	55.7	5.2	0.7	2.1	36.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	615	13.8	28.3	49.9	5.2	1.3	1.5	42.1
	後期高齢者	569	8.1	28.8	55.0	5.4	0.4	2.3	36.9
	女性 前期高齢者	771	8.9	27.8	54.5	5.4	0.8	2.6	36.7
	後期高齢者	791	6.4	24.1	61.9	4.9	0.4	2.1	30.5
圏域	城東	398	11.3	27.9	53.3	5.8	1.0	0.8	39.2
	城南	393	8.1	27.7	55.0	5.6	1.5	2.0	35.8
	城北	397	9.8	27.5	56.7	2.5	0.5	3.0	37.3
	宇和海	374	10.7	28.9	53.7	3.7	0.8	2.1	39.6
	吉田	394	7.6	25.1	57.6	6.6	0.3	2.8	32.7
	三間	418	5.5	27.0	57.2	7.4	0.7	2.2	32.5
	津島	372	11.3	25.3	56.5	4.8	-	2.2	36.6
認定該当 状況	一般高齢者	2,602	9.3	26.8	55.8	5.3	0.7	2.2	36.1
	総合事業対象者	16	-	△ 37.5	56.3	6.3	-	-	37.5
	要支援1・2	128	7.8	31.3	54.7	3.9	-	2.3	39.1
家族構成	1人暮らし	586	12.6	30.7	50.5	3.1	0.5	2.6	43.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,076	7.8	28.3	54.6	6.8	1.0	1.6	36.1
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	93	10.8	25.8	55.9	4.3	-	3.2	36.6
	息子・娘との2世帯	529	4.9	24.6	63.7	4.9	0.8	1.1	29.5
	その他	409	12.7	22.7	57.0	4.9	0.2	2.4	35.4

③ うわじまガイヤ体操の認知度

うわじまガイヤ健康体操の認知状況をみると、「知っている」が41.8%となっており、前回調査と比べて3.8ポイント増加しています。

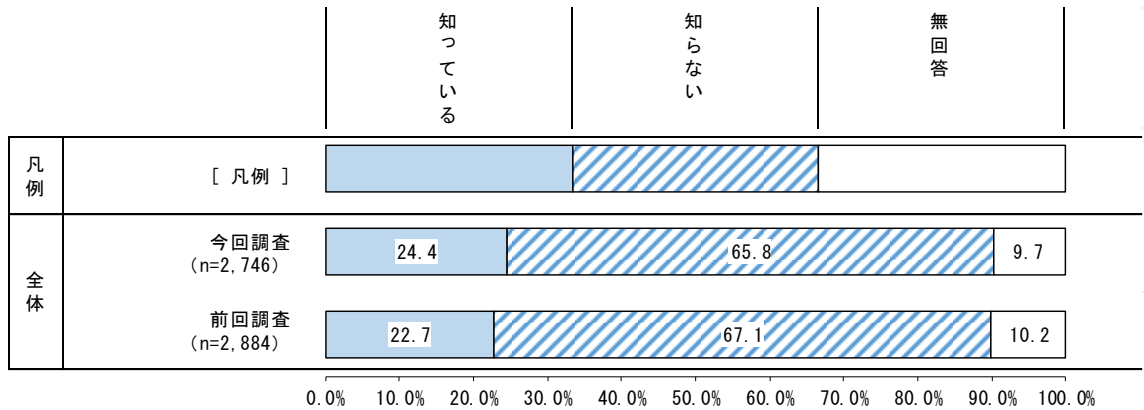
【うわじまガイヤ健康体操／前回比較】



④ 生き生き教室の認知度

生き生き教室の認知状況をみると、「知っている」が24.4%となっており、前回調査と比べて1.7ポイント増加しています。

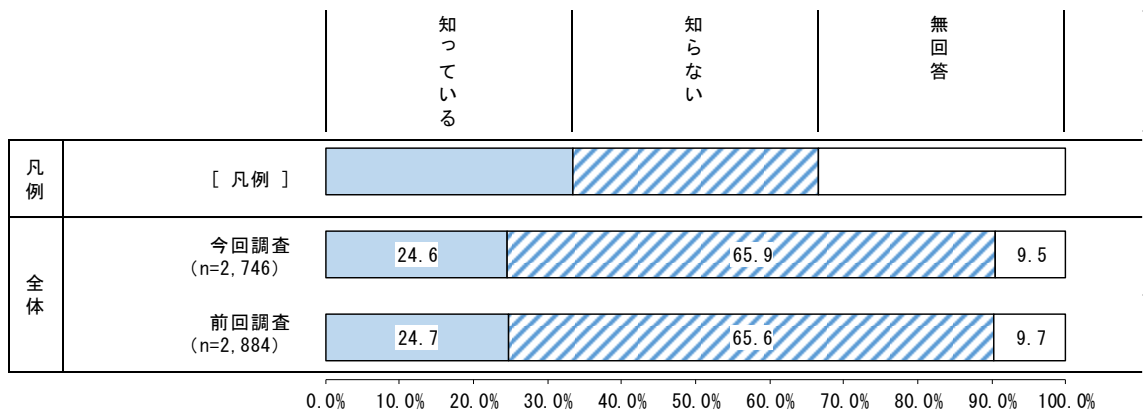
【生き生き教室／前回比較】



⑤ 高齢者サロンの認知度

高齢者サロンの認知状況をみると、「知っている」が24.6%となっており、前回調査と比べると大きな変化は見られません。

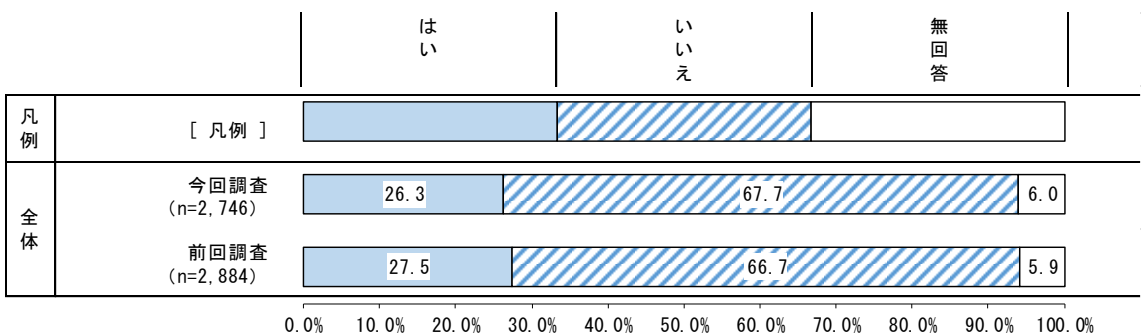
【高齢者サロン／前回比較】



⑥ 認知症相談窓口の認知状況

認知症に関する相談窓口の認知状況をみると、「はい」と回答した方が26.3%となっており、前回調査と比べて1.2ポイント減少しています。

【相談窓口の認知状況／前回比較】

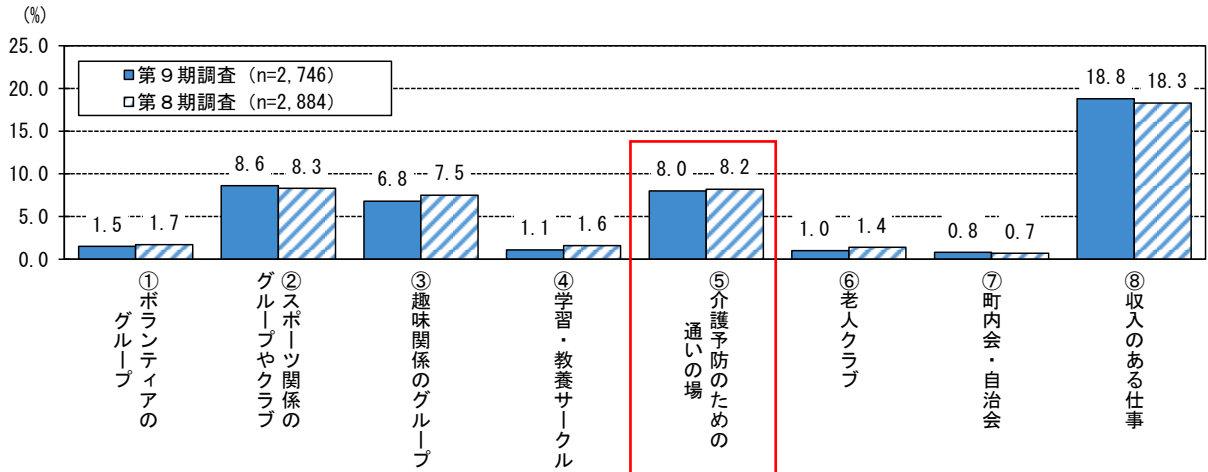


⑦ 地域活動への参加状況

会・グループ等への参加頻度をみると、最も“参加頻度が高いもの（週1回以上参加している人のみ抽出）”は⑧収入のある仕事（18.8%）、②スポーツ関係のグループやクラブ（8.6%）、⑤介護予防のための通いの場（8.0%）、③趣味関係のグループ（6.8%）の順となっています。

介護予防のための通いの場への参加状況をみると、いずれの圏域も「参加していない」が多くなっていますが、参加頻度では、「週2～3回」「週1回」が多くなっています。

【会・グループへの参加頻度（週1回以上参加している人のみ抽出）／前回比較】

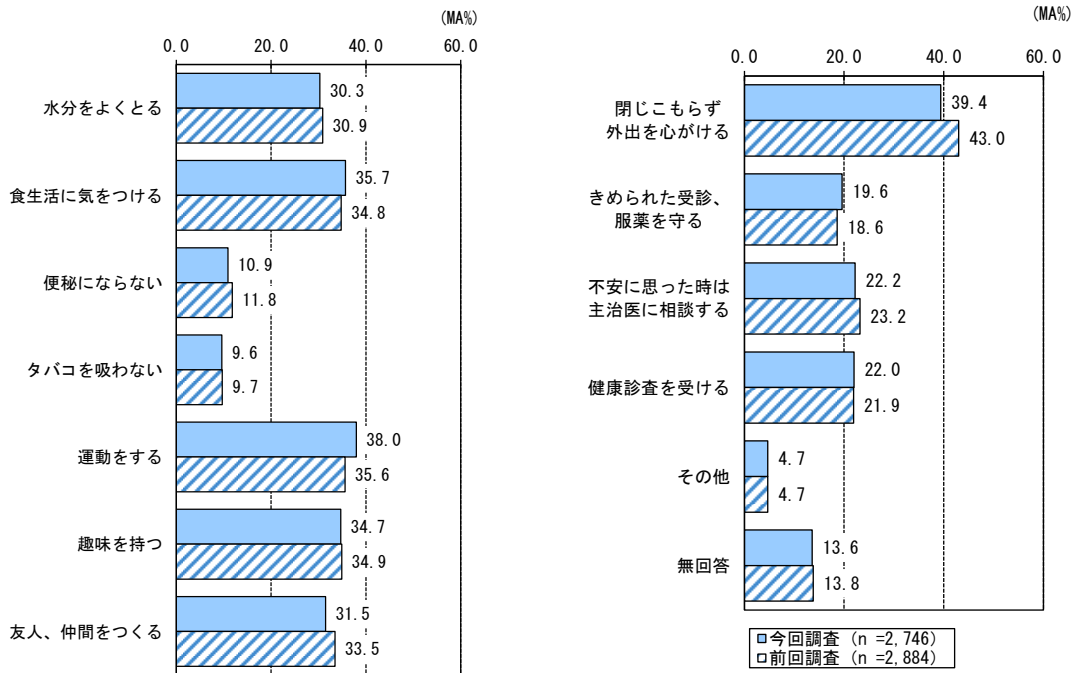


【⑤介護予防のための通いの場への参加頻度／今回調査のみ】

		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回
全体	全体 (n=2,746)	0.8%	2.4%	4.8%	1.4%	0.8%
性	男性 (n=1,184)	0.6%	1.4%	1.4%	0.8%	0.6%
	女性 (n=1,562)	0.9%	3.2%	7.4%	1.9%	1.0%
圏域	城東 (n=398)	1.0%	2.0%	4.5%	1.0%	0.8%
	城南 (n=393)	0.8%	2.3%	4.3%	0.8%	1.0%
	城北 (n=397)	1.0%	3.0%	4.0%	0.8%	0.8%
	宇和海 (n=374)	0.3%	3.5%	2.1%	0.8%	1.1%
	吉田 (n=394)	0.8%	0.8%	6.6%	2.8%	0.5%
	三間 (n=418)	0.7%	1.9%	6.7%	1.4%	0.7%
	津島 (n=372)	0.8%	3.5%	5.1%	2.2%	0.8%

⑧ 認知症予防のために取り組んでいること

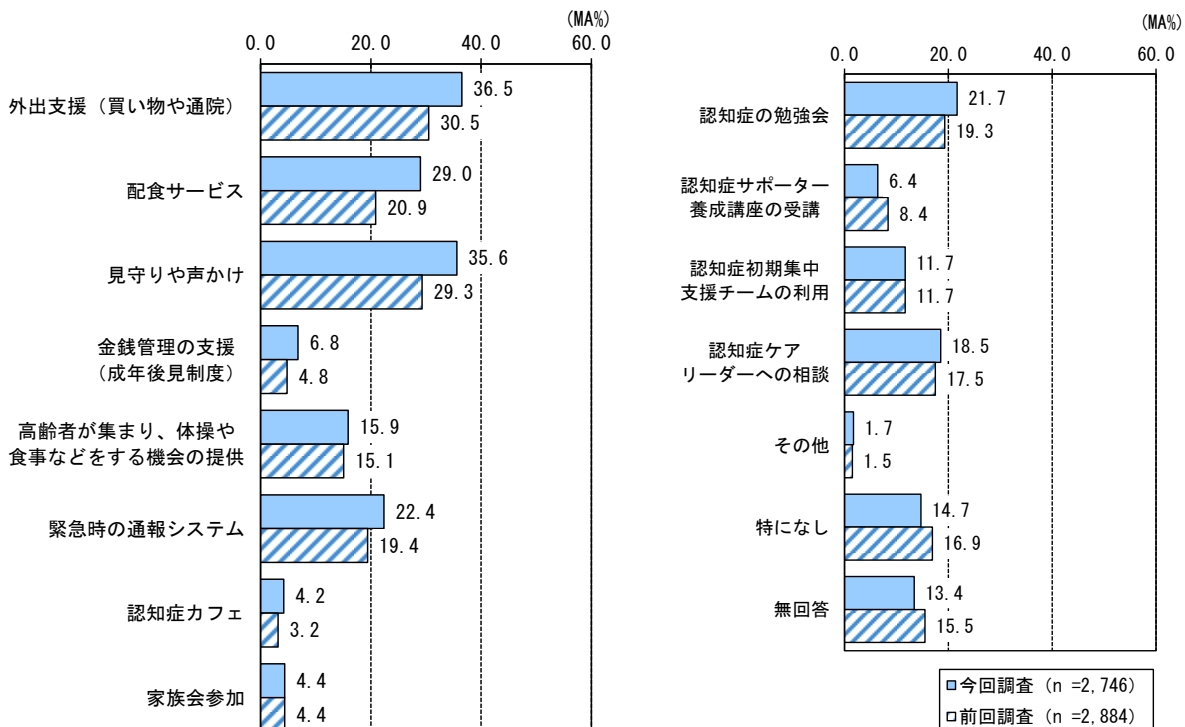
認知症を予防するための、取り組んでいることをみると、「閉じこもらず外出を心がける」(39.4%)が最も多く、次いで「運動をする」(38.0%)、「食生活に気をつける」(35.7%)の順となっています。



認知症になった時に利用したいサービスや取組について

もし認知症の症状が出たり、家族が認知症になった時に利用したいサービスや取組をみると、「外出支援（買い物や通院）」(36.5%)が最も多く、次いで「見守りや声かけ」(35.6%)、「配食サービス」(29.0%)の順となっています。  
前回調査と比べて「外出支援（買い物や通院）」が6.0ポイント増加しています。

【認知症になった時に利用したいサービスや取組／前回比較】



## ⑨ リスク評価について

### ■運動器機能の低下リスク判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下リスクがあります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／ やや不安である

### ■閉じこもりリスク判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもりのリスクがあります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

### ■認知機能の低下リスク判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下のリスクがあります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

### ■低栄養リスク判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養のリスクがあります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m) <sup>2</sup> )	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

### ■口腔機能の低下リスク判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下のリスクがあります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

### ■うつリスク判定方法

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

### ■IADLの判定方法

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

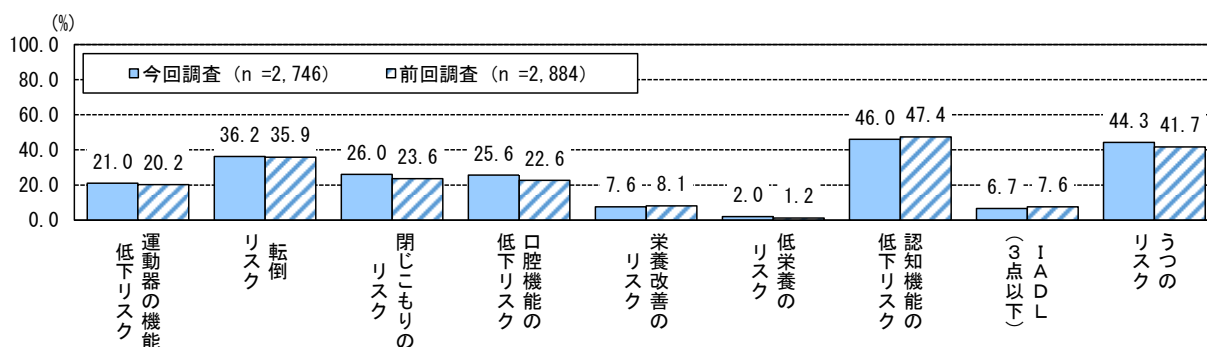
※手段的自立度(IADL)とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

リスク該当状況を見ると、全体では認知機能の低下(46.0%)、うつリスク(44.3%)、転倒リスク(36.2%)、閉じこもりのリスク(26.0%)、口腔機能の低下リスク(25.6%)、運動器の機能低下リスク(21.0%)、栄養改善のリスク(7.6%)、IADL(3点以下)(6.7%)、低栄養のリスク(2.0%)の順で該当率が高くなっています。

前回調査と比べると、うつリスクが前回調査より2.6ポイント、閉じこもりのリスクは2.4ポイント増加しています。

全てのリスク項目において前期高齢者より後期高齢者の該当率が高くなっています。

【リスク判定(全体)／前回比較】

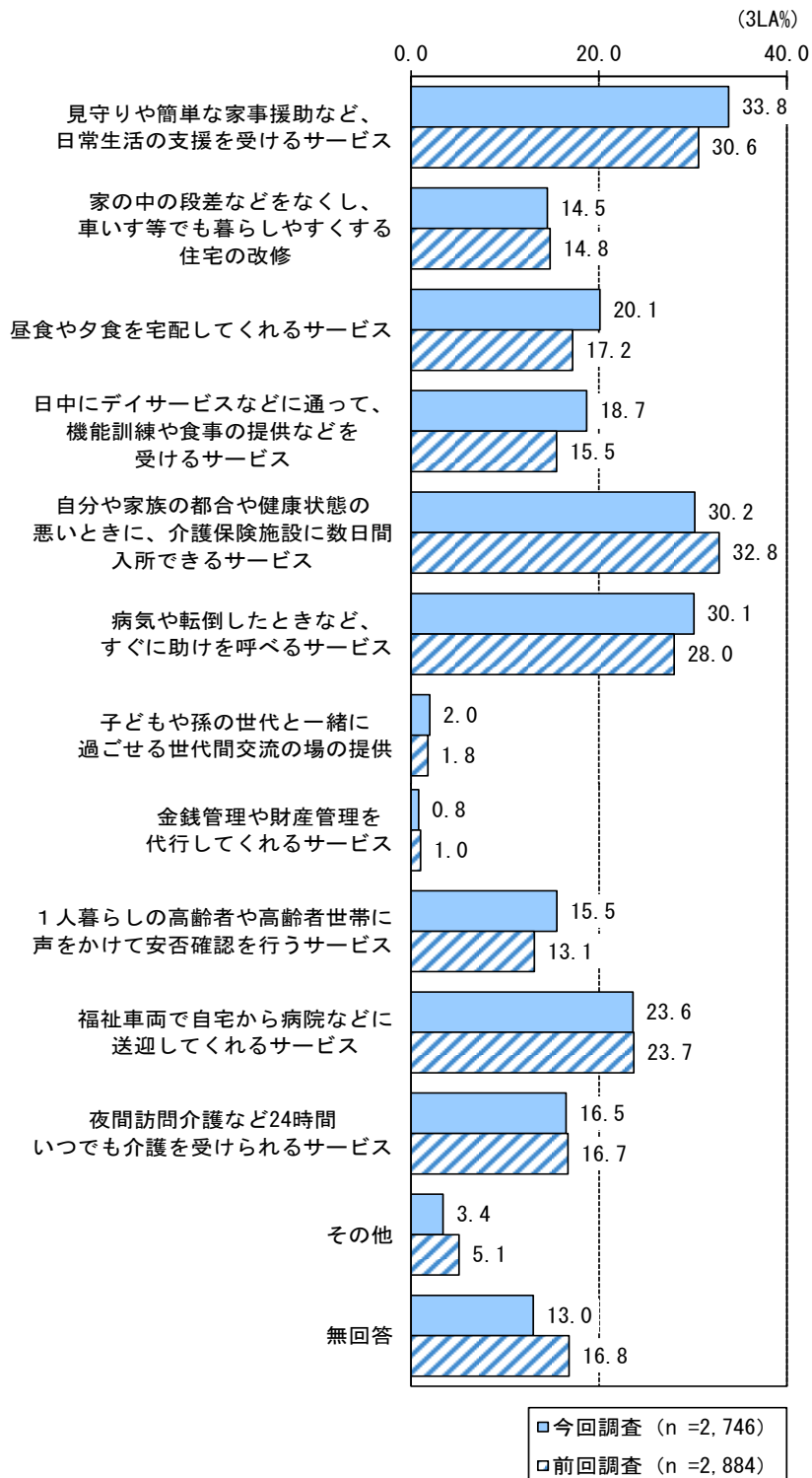


⑩ 自宅で生活を続けるための支援について

自宅で生活を続けるためには、どのような支援が必要かをみると、「見守りや簡単な家事援助など、日常生活の支援を受けるサービス」(33.8%)が最も多く、次いで「自分や家族の都合や健康状態の悪い時に、介護保険施設に数日間入所できるサービス」(30.2%)、「病院や転倒したときなど、すぐに助けを呼べるサービス」(30.1%)の順となっています。

前回調査と比べて、「見守りや簡単な家事援助など、日常生活の支援を受けるサービス」が3.2ポイント増加しています。

【自宅で生活を続けるために必要な支援／前回比較】

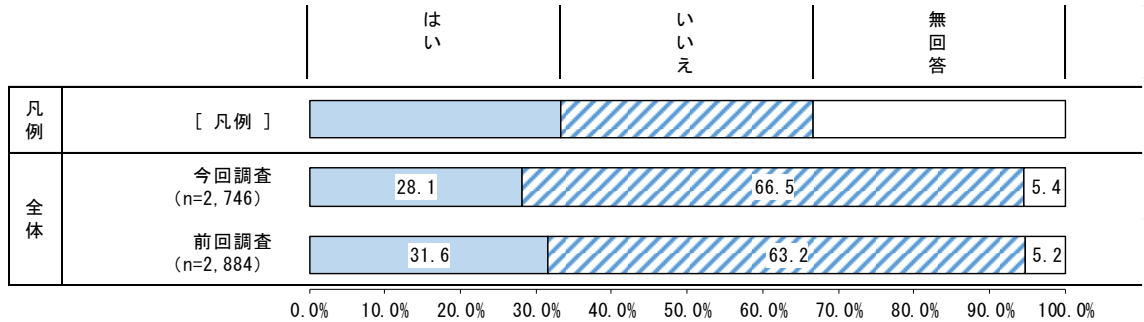




⑪ 在宅医療・在宅看取りについて

宇和島市において、在宅医療・在宅看取りが可能であることの認知状況をみると、「はい」と回答した方が28.1%となっており、前回調査と比べて3.5ポイント減少しています。

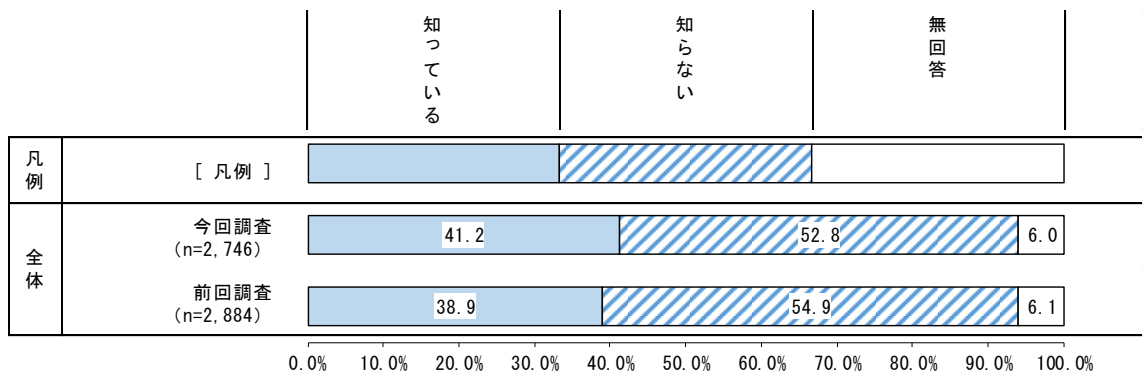
【在宅医療・在宅看取りが可能であることの認知状況／前回比較】



⑫ 成年後見制度について

成年後見制度がどのような制度か知っているかをみると、「知っている」と回答した方が41.2%となっており、前回調査と比べて2.3ポイント増加しています。

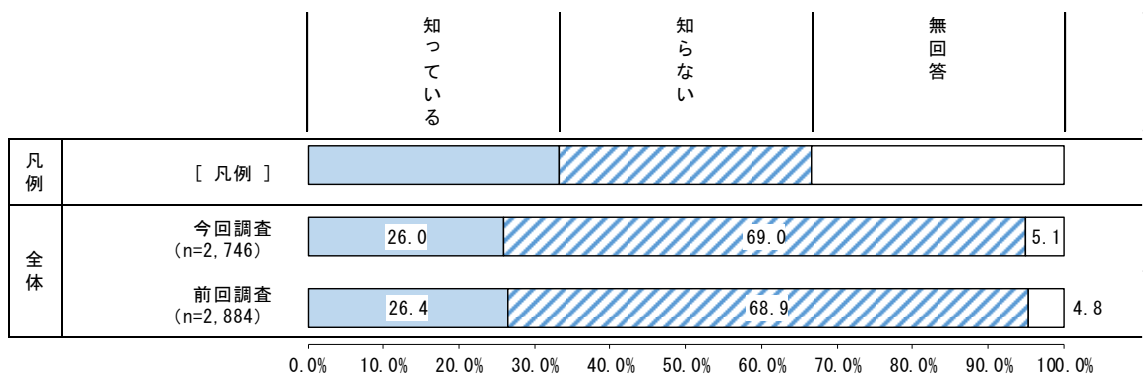
【成年後見制度の認知状況／前回比較】



⑬ 高齢者虐待について

身近で高齢者虐待と思われる事案が発生した場合、地域包括支援センターが相談窓口であることを知っているかをみると、「知っている」と回答した方が26.0%となっており、前回調査と比べて0.4ポイント減少しています。

【高齢者虐待の相談窓口の認知状況／前回比較】

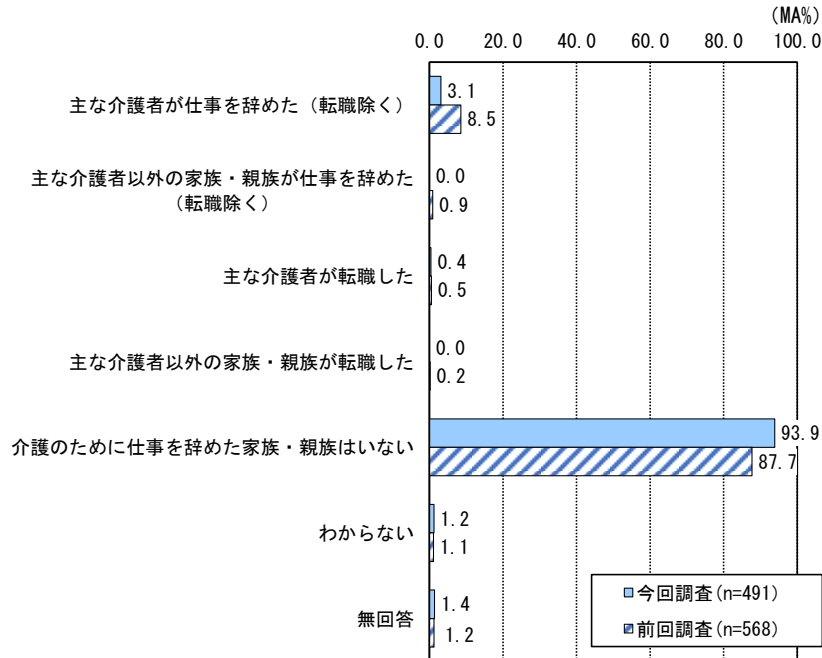


## (2) 在宅介護実態調査

### ① 過去1年間の離職状況

介護のための、主な介護者の離職の有無をみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.1%、「主な介護者が転職した」が0.4%となっています。

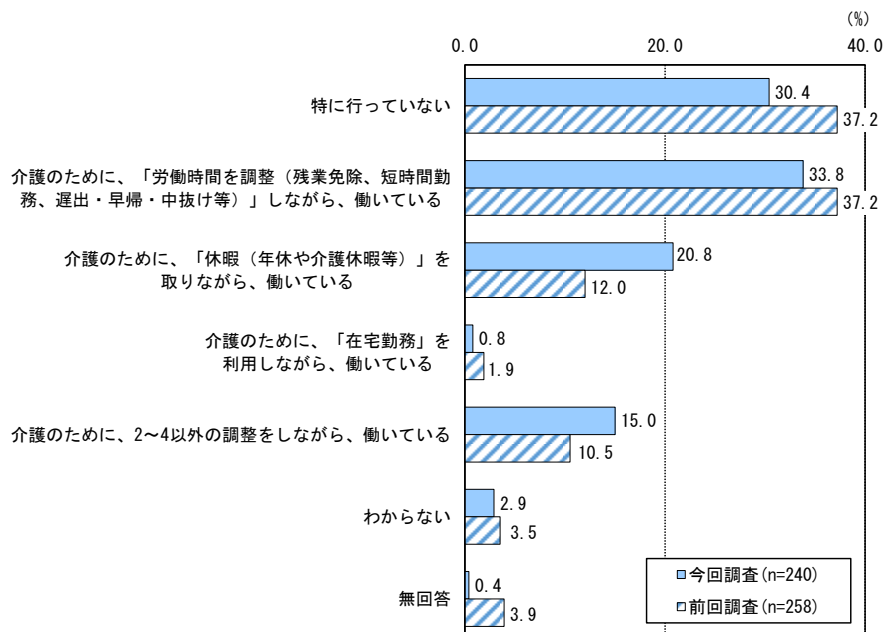
【介護のための離職の有無／前回比較】



### ② 働き方の調整について

介護者の働き方の調整をみると、「特に行っていない」（30.4%）以外の回答では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（33.8%）、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（20.8%）、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（0.8%）、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（15.0%）となっています。

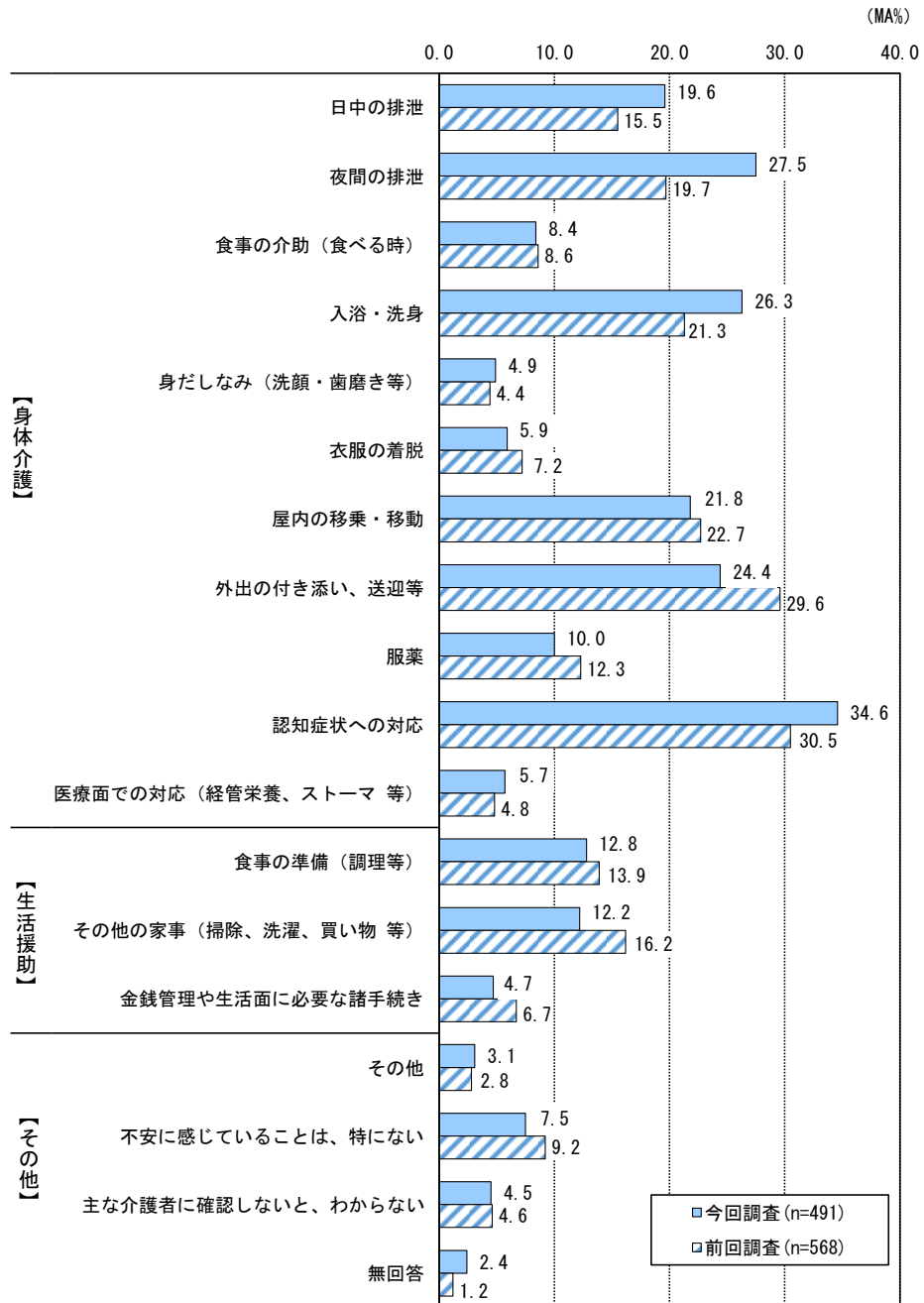
【介護者の働き方の調整／前回比較】



③ 現在の生活を続けていくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を続けていくために主な介護者が不安に感じていることでは、『身体介護』では「認知症への対応」が34.6%で最も多く、『生活援助』では「食事の準備（調理等）」が12.8%で最も多くなっています。

【現在の生活を続けていくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等／前回比較】



## 5. 日常生活圏域別の状況

### (1) 圏域別の人口等の状況

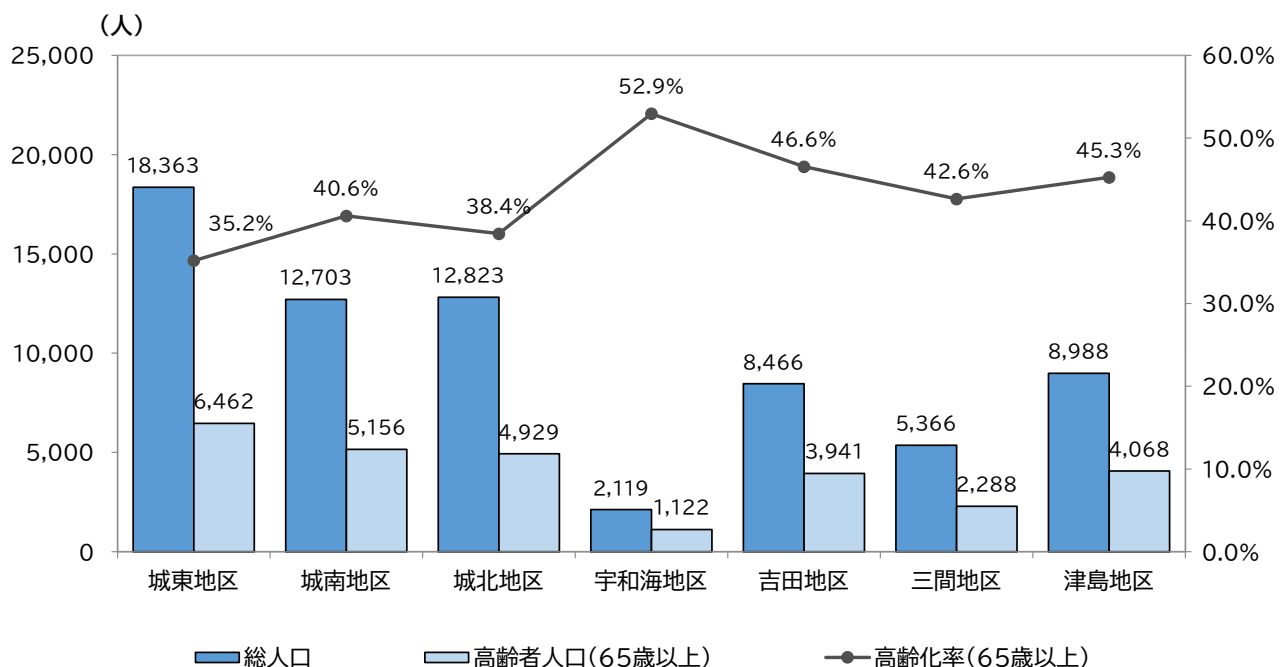
日常生活圏域別の人口の状況をみると、「城東地区」が18,363人と最も多く、「宇和海地区」が2,119人と最も少なくなっています。

高齢化率(65歳以上)は「宇和海地区」が52.9%と最も高く、次いで「吉田地区」が46.6%、「津島地区」が45.3%、「三間地区」が42.6%となっています。

総人口に占める75歳以上の割合は「吉田地区」が26.7%と最も高くなっています。

#### 【全体】

日常生活圏域	総人口	高齢者人口(65歳以上)			高齢化率 (65歳以上)	総人口に占める 75歳以上の割合
		65歳~74歳 (前期高齢者)	75歳以上 (後期高齢者)			
城東地区	18,363	6,462	2,947	3,515	35.2%	19.1%
城南地区	12,703	5,156	2,187	2,969	40.6%	23.4%
城北地区	12,823	4,929	2,141	2,788	38.4%	21.7%
宇和海地区	2,119	1,122	570	552	52.9%	26.1%
吉田地区	8,466	3,941	1,680	2,261	46.6%	26.7%
三間地区	5,366	2,288	998	1,290	42.6%	24.0%
津島地区	8,988	4,068	1,852	2,216	45.3%	24.7%
合計	68,828	27,966	12,375	15,591	40.6%	22.7%



※資料：住民基本台帳 令和5年（2023年）9月末日現在

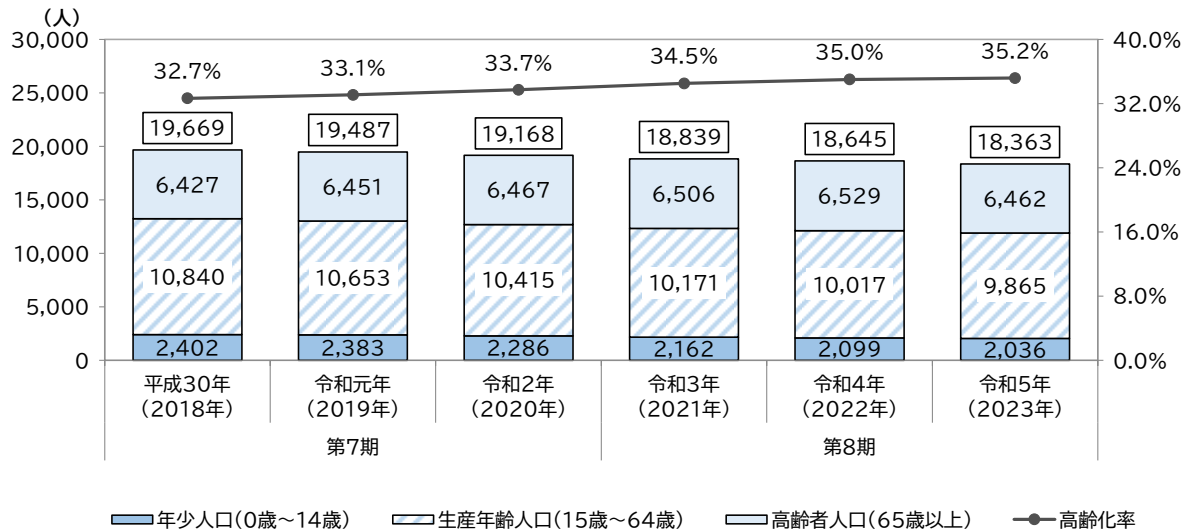
## 【城東地区】

### ■人口推移

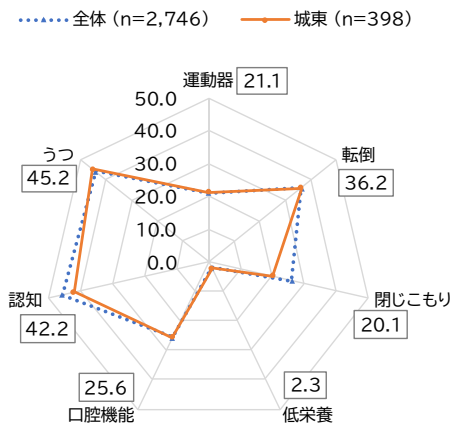
単位:人

城東地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	19,669	19,487	19,168	18,839	18,645	18,363
年少人口(0歳~14歳)	2,402	2,383	2,286	2,162	2,099	2,036
生産年齢人口(15歳~64歳)	10,840	10,653	10,415	10,171	10,017	9,865
40歳~64歳	6,532	6,434	6,293	6,206	6,159	6,077
高齢者人口(65歳以上)	6,427	6,451	6,467	6,506	6,529	6,462
65歳~74歳(前期高齢者)	3,255	3,245	3,216	3,263	3,118	2,947
75歳以上(後期高齢者)	3,172	3,206	3,251	3,243	3,411	3,515
高齢化率	32.7%	33.1%	33.7%	34.5%	35.0%	35.2%
総人口に占める75歳以上の割合	16.1%	16.5%	17.0%	17.2%	18.3%	19.1%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■各種リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・運動器機能の低下 (全体 : 21.0%/城東 : 21.1%)
- ・低栄養リスク (全体 : 2.0%/城東 : 2.3%)
- ・うつのリスク (全体 : 44.3%/城東 : 45.2%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・閉じこもり (全体 : 26.0%/城東 : 20.1%)
- ・認知機能の低下 (全体 : 46.0%/城東 : 42.2%)

※資料 : 住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31~32 参照

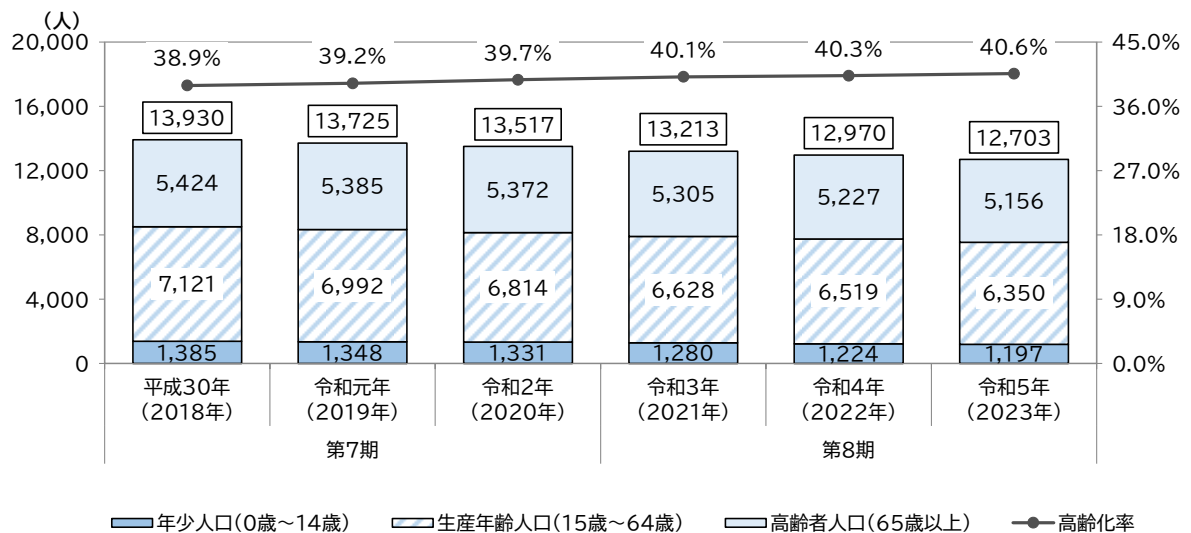
## 【城南地区】

### ■人口推移

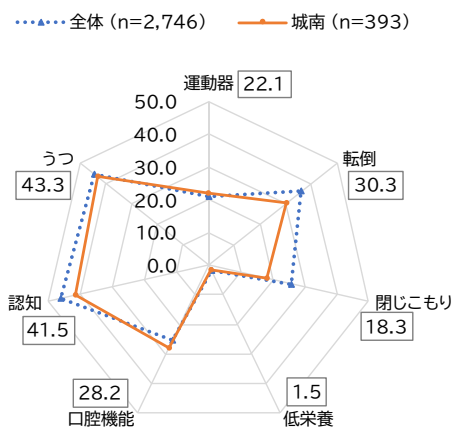
単位:人

城南地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	13,930	13,725	13,517	13,213	12,970	12,703
年少人口(0歳~14歳)	1,385	1,348	1,331	1,280	1,224	1,197
生産年齢人口(15歳~64歳)	7,121	6,992	6,814	6,628	6,519	6,350
40歳~64歳	4,393	4,334	4,250	4,173	4,089	4,012
高齢者人口(65歳以上)	5,424	5,385	5,372	5,305	5,227	5,156
65歳~74歳(前期高齢者)	2,556	2,518	2,492	2,471	2,334	2,187
75歳以上(後期高齢者)	2,868	2,867	2,880	2,834	2,893	2,969
高齢化率	38.9%	39.2%	39.7%	40.1%	40.3%	40.6%
総人口に占める75歳以上の割合	20.6%	20.9%	21.3%	21.4%	22.3%	23.4%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・運動器機能の低下 (全体: 21.0%/城南: 22.1%)
- ・口腔機能の低下 (全体: 25.6%/城南: 28.2%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・転倒リスク (全体: 36.2%/城南: 30.3%)
- ・閉じこもり (全体: 26.0%/城南: 18.3%)
- ・低栄養リスク (全体: 2.0%/城南: 1.5%)
- ・認知機能の低下 (全体: 46.0%/城南: 41.5%)
- ・うつのリスク (全体: 44.3%/城南: 43.3%)

※資料:住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31~32 参照

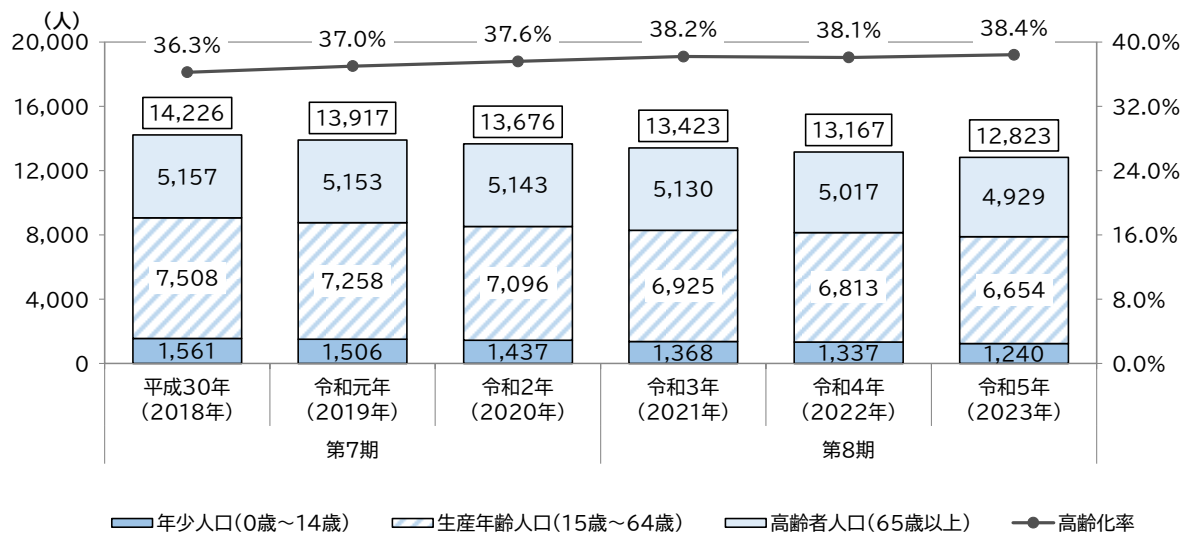
## 【城北地区】

### ■人口推移

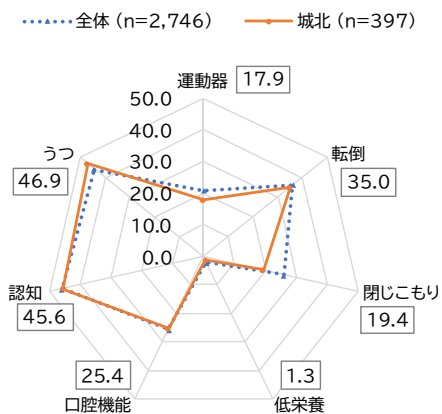
単位:人

城北地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	14,226	13,917	13,676	13,423	13,167	12,823
年少人口(0歳~14歳)	1,561	1,506	1,437	1,368	1,337	1,240
生産年齢人口(15歳~64歳)	7,508	7,258	7,096	6,925	6,813	6,654
40歳~64歳	4,577	4,498	4,445	4,368	4,300	4,215
高齢者人口(65歳以上)	5,157	5,153	5,143	5,130	5,017	4,929
65歳~74歳(前期高齢者)	2,574	2,493	2,497	2,459	2,308	2,141
75歳以上(後期高齢者)	2,583	2,660	2,646	2,671	2,709	2,788
高齢化率	36.3%	37.0%	37.6%	38.2%	38.1%	38.4%
総人口に占める75歳以上の割合	18.2%	19.1%	19.3%	19.9%	20.6%	21.7%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・ うつのリスク (全体 : 44.3%/城北 : 46.9%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・ 運動器機能の低下 (全体 : 21.0%/城北 : 17.9%)
- ・ 転倒リスク (全体 : 36.2%/城北 : 35.0%)
- ・ 閉じこもり (全体 : 26.0%/城北 : 19.4%)
- ・ 低栄養リスク (全体 : 2.0%/城北 : 1.3%)
- ・ 口腔機能の低下 (全体 : 25.6%/城北 : 25.4%)
- ・ 認知機能の低下 (全体 : 46.0%/城北 : 45.6%)

※資料 : 住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31~32 参照

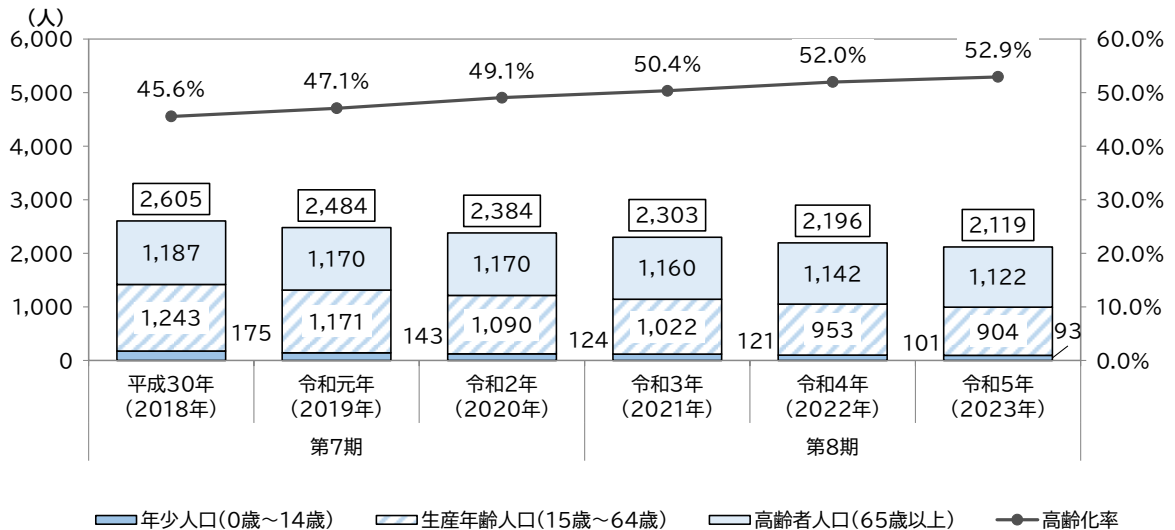
## 【宇和海地区】

### ■人口推移

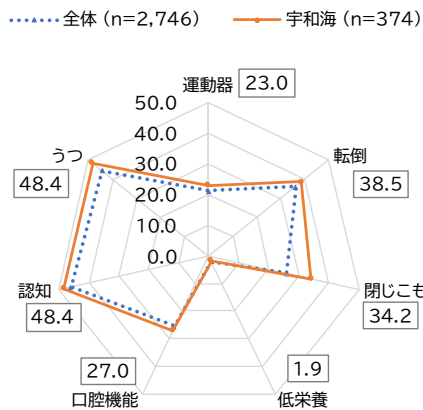
単位:人

宇和海地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	2,605	2,484	2,384	2,303	2,196	2,119
年少人口(0歳~14歳)	175	143	124	121	101	93
生産年齢人口(15歳~64歳)	1,243	1,171	1,090	1,022	953	904
40歳~64歳	866	823	761	715	666	633
高齢者人口(65歳以上)	1,187	1,170	1,170	1,160	1,142	1,122
65歳~74歳(前期高齢者)	569	568	592	606	592	570
75歳以上(後期高齢者)	618	602	578	554	550	552
高齢化率	45.6%	47.1%	49.1%	50.4%	52.0%	52.9%
総人口に占める75歳以上の割合	23.7%	24.2%	24.2%	24.1%	25.0%	26.1%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・運動器機能の低下 (全体: 21.0%/宇和海: 23.0%)
- ・転倒リスク (全体: 36.2%/宇和海: 38.5%)
- ・閉じこもり (全体: 26.0%/宇和海: 34.2%)
- ・口腔機能の低下 (全体: 25.6%/宇和海: 27.0%)
- ・認知機能の低下 (全体: 46.0%/宇和海: 48.4%)
- ・うつのリスク (全体: 44.3%/宇和海: 48.4%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・低栄養リスク (全体: 2.0%/宇和海: 1.9%)

※資料:住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31~32 参照

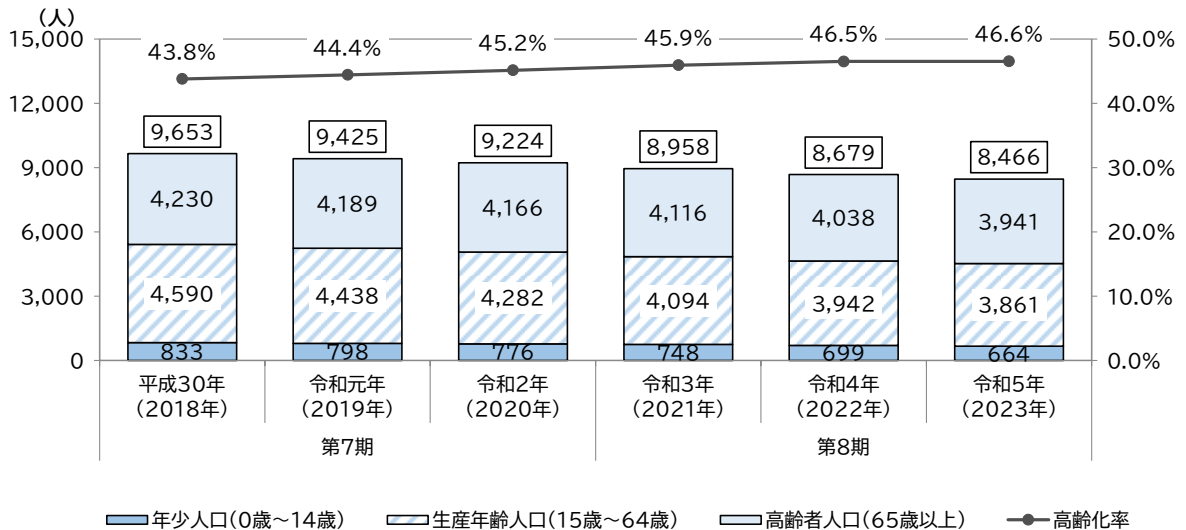


## 【吉田地区】

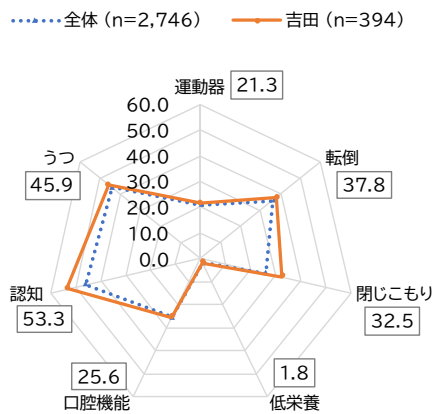
### ■人口推移

吉田地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	9,653	9,425	9,224	8,958	8,679	8,466
年少人口(0歳～14歳)	833	798	776	748	699	664
生産年齢人口(15歳～64歳)	4,590	4,438	4,282	4,094	3,942	3,861
40歳～64歳	2,958	2,881	2,797	2,690	2,637	2,607
高齢者人口(65歳以上)	4,230	4,189	4,166	4,116	4,038	3,941
65歳～74歳(前期高齢者)	1,898	1,843	1,861	1,906	1,805	1,680
75歳以上(後期高齢者)	2,332	2,346	2,305	2,210	2,233	2,261
高齢化率	43.8%	44.4%	45.2%	45.9%	46.5%	46.6%
総人口に占める75歳以上の割合	24.2%	24.9%	25.0%	24.7%	25.7%	26.7%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・運動器機能の低下 (全体 : 21.0%/吉田 : 21.3%)
- ・転倒リスク (全体 : 36.2%/吉田 : 37.8%)
- ・閉じこもり (全体 : 26.0%/吉田 : 32.5%)
- ・認知機能の低下 (全体 : 46.0%/吉田 : 53.3%)
- ・うつのリスク (全体 : 44.3%/吉田 : 45.9%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・低栄養リスク (全体 : 2.0%/吉田 : 1.8%)

※資料 : 住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31～32 参照

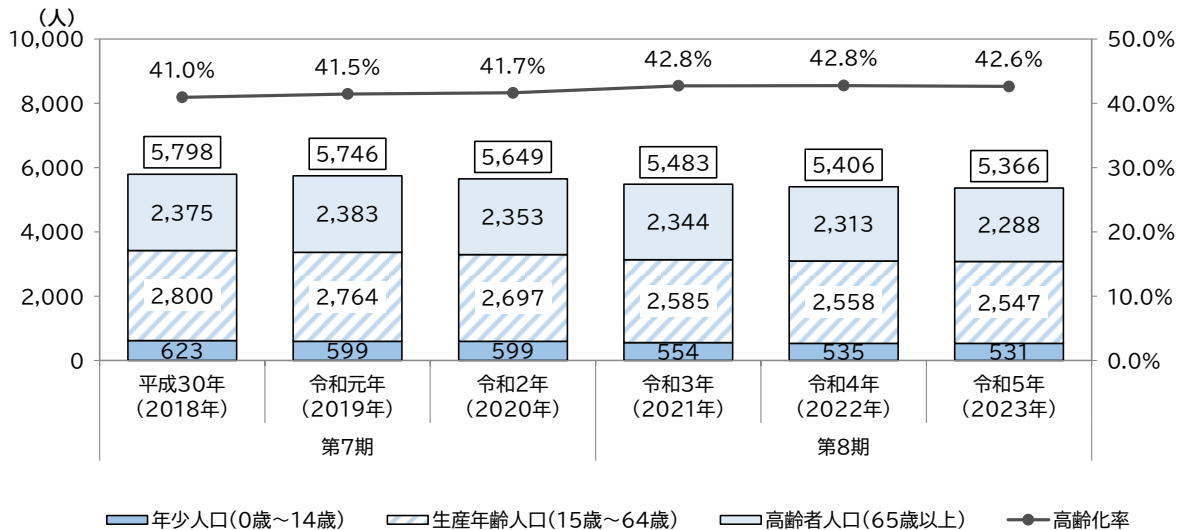
## 【三間地区】

### ■人口推移

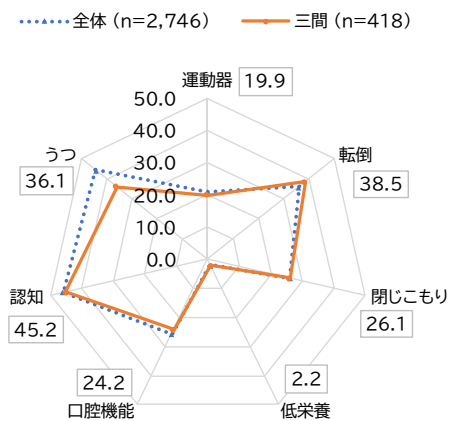
単位:人

三間地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	5,798	5,746	5,649	5,483	5,406	5,366
年少人口(0歳~14歳)	623	599	599	554	535	531
生産年齢人口(15歳~64歳)	2,800	2,764	2,697	2,585	2,558	2,547
40歳~64歳	1,774	1,742	1,723	1,653	1,624	1,605
高齢者人口(65歳以上)	2,375	2,383	2,353	2,344	2,313	2,288
65歳~74歳(前期高齢者)	1,131	1,136	1,128	1,140	1,068	998
75歳以上(後期高齢者)	1,244	1,247	1,225	1,204	1,245	1,290
高齢化率	41.0%	41.5%	41.7%	42.8%	42.8%	42.6%
総人口に占める75歳以上の割合	21.5%	21.7%	21.7%	22.0%	23.0%	24.0%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・転倒リスク (全体: 36.2%/三間: 38.5%)
- ・閉じこもり (全体: 26.0%/三間: 26.1%)
- ・低栄養リスク (全体: 2.0%/三間: 2.2%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・運動器機能の低下 (全体: 21.0%/三間: 19.9%)
- ・口腔機能の低下 (全体: 25.6%/三間: 24.2%)
- ・認知機能の低下 (全体: 46.0%/三間: 45.2%)
- ・うつのリスク (全体: 44.3%/三間: 36.1%)

※資料:住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31~32 参照

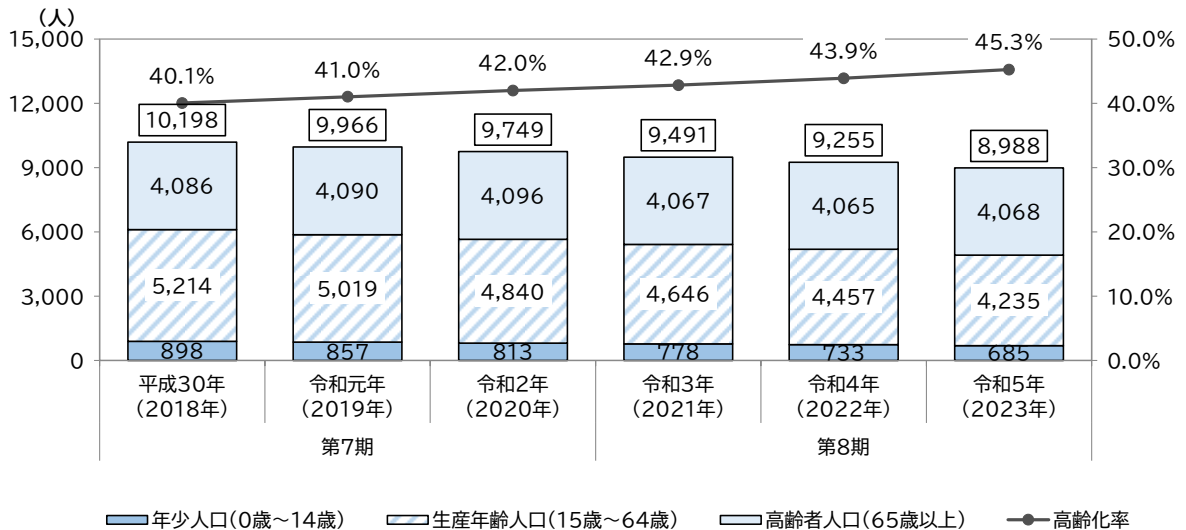
## 【津島地区】

### ■人口推移

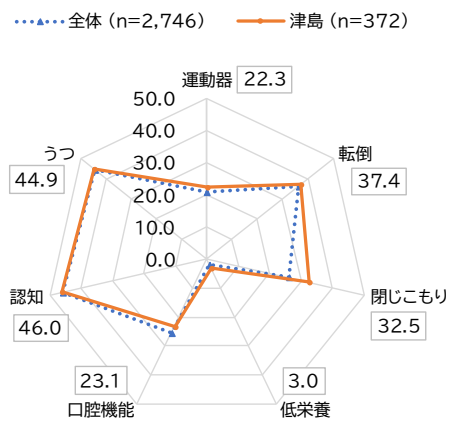
単位:人

津島地区	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	10,198	9,966	9,749	9,491	9,255	8,988
年少人口(0歳~14歳)	898	857	813	778	733	685
生産年齢人口(15歳~64歳)	5,214	5,019	4,840	4,646	4,457	4,235
40歳~64歳	3,454	3,354	3,228	3,120	2,992	2,850
高齢者人口(65歳以上)	4,086	4,090	4,096	4,067	4,065	4,068
65歳~74歳(前期高齢者)	1,859	1,871	1,914	1,948	1,900	1,852
75歳以上(後期高齢者)	2,227	2,219	2,182	2,119	2,165	2,216
高齢化率	40.1%	41.0%	42.0%	42.9%	43.9%	45.3%
総人口に占める75歳以上の割合	21.8%	22.3%	22.4%	22.3%	23.4%	24.7%

※資料:住民基本台帳 各年9月末日現在



### ■リスク判定



#### 【市全体よりも高いリスク】

- ・運動器機能の低下 (全体: 21.0%/津島: 22.3%)
- ・転倒リスク (全体: 36.2%/津島: 37.4%)
- ・閉じこもり (全体: 26.0%/津島: 32.5%)
- ・低栄養リスク (全体: 2.0%/津島: 3.0%)
- ・うつのリスク (全体: 44.3%/津島: 44.9%)

#### 【市全体よりも低いリスク】

- ・口腔機能の低下 (全体: 25.6%/津島: 23.1%)

※資料:住民基本台帳 令和5年(2023年)9月末日現在

※各種リスク判定方法については、P. 31~32 参照

## (2) 介護サービス事業所の整備状況

令和5年11月1日における、日常生活圏域別介護保険サービス基盤整備状況は以下のとおりです。

サービス種別	事業所数(か所)															
	市全体		城東		城南		城北		宇和海		吉田		三間		津島	
	事業所数	休止中	事業所数	休止中	事業所数	休止中	事業所数	休止中	事業所数	休止中	事業所数	休止中	事業所数	休止中	事業所数	休止中
訪問介護	36	1	17	0	7	0	4	0	1	0	4	0	1	0	2	1
訪問入浴介護	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防訪問入浴介護	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問看護	10	0	6	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防訪問看護	9	0	6	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問リハビリテーション	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防訪問リハビリテーション	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	34	0	11	0	9	0	6	0	0	0	5	0	2	0	1	0
通所リハビリテーション	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
介護予防通所リハビリテーション	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
短期入所生活介護	11	0	5	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0
介護予防短期入所生活介護	10	0	4	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0
短期入所療養介護	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
介護予防短期入所療養介護	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
特定施設入居者生活介護	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
介護予防特定施設入居者生活介護	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
福祉用具貸与	6	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防福祉用具貸与	6	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定福祉用具販売	6	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定介護予防福祉用具販売	6	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援	34	2	8	1	9	0	5	0	0	0	5	1	1	0	6	0
介護予防支援	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防ケアマネジメント	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0
介護老人保健施設	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	15	0	2	0	4	0	3	0	0	0	1	0	3	0	2	0
介護予防認知症対応型共同生活介護	15	0	2	0	4	0	3	0	0	0	1	0	3	0	2	0
小規模多機能型居宅介護	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型通所介護	17	2	3	2	4	0	4	0	0	0	1	0	3	0	2	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症対応型通所介護	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防認知症対応型通所介護	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス(独自)	45	1	12	1	12	0	8	0	0	0	6	0	4	0	3	0
通所型サービス(独自/定率)	10	0	4	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
訪問型サービス(独自)	30	1	13	0	6	0	4	0	0	0	4	0	1	0	2	1
訪問型サービス(独自/定率)	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0